



10

BLACK

GoPro ムーブメントに参加しよう



@GoPro



@GoPro



@GoPro



facebook.com/GoProJP



@GoPro



pinterest.com/GoPro

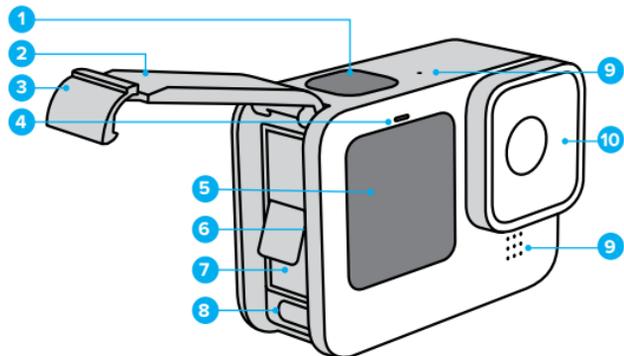
目次

HERO10 Black の外観	6
カメラのセットアップ	8
GoPro カメラの紹介	14
GoPro のカスタマイズ	27
HERO10 Black パワーツール	36
QuikCapture の使用	46
HiLight タグの追加	48
画面の向きの設定	49
ビデオの録画	50
ビデオの設定	57
写真撮影	60
写真の設定	67
タイムラプスの撮影	69
タイムラプスの設定	75
ライブストリーミング + ウェブカメラモード	78
露出コントロール	79
音声で GoPro を操作	83
メディアの再生	87

目次

GoPro Quik アプリへの接続	91
メディアの転送	93
「接続」および「ユーザー設定」の設定	98
重要なメッセージ	107
カメラのリセット	109
GoPro のマウント方法	111
ドアの取り外し	116
メンテナンス	118
バッテリーの情報	119
トラブルシューティング	123
仕様：ビデオ	125
仕様：写真	136
仕様：タイムラプス	141
仕様：Protune	146
カスタマーサポート	154
登録商標	154
規制情報	154

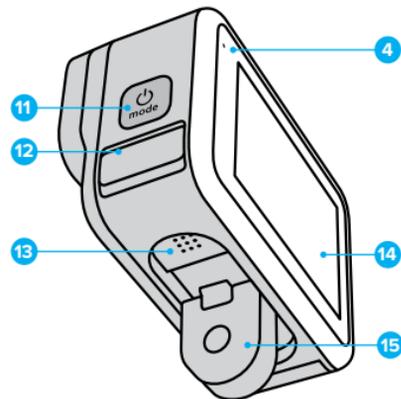
HERO10 Black の外観



1. シャッターボタン 
2. ドア
3. ドアラッチ
4. ステータスライト
5. フロントスクリーン

6. microSD カードスロット
7. バッテリー
8. USB-C ポート
9. マイク
10. リムーバブルレンズ

HERO10 Black の外観



11. モードボタン 
12. ドレインマイク
(排水用です。ドアやラッチ
ではないので開かないでくだ
さい)

13. スピーカー
14. タッチスクリーン
15. フォールディングフィンガー

GoPro に付属しているアクセサリーの使用方法は、「[GoPro のマウント方法 \(111 ページ\)](#)」をご参照ください。

カメラのセットアップ

SD カード

ビデオと写真を保存するには、microSD カード（別売）が必要です。以下の要件を満たす大手メーカーのカードをご使用ください。

- microSD、microSDHC、または microSDXC
- 規格クラス V30、UHS-3 以上
- 最大容量 512GB

推奨される microSD カードのリストについては、gopro.com/microsdcards をご参照ください。

SD カードを取り扱う前に、手が清潔で乾いていることを確認してください。カードの許容温度範囲やその他の重要事項は、カード製造元のガイドラインを確認してください。

注意：SD カードは時間の経過とともに劣化し、カメラのメディア保存機能に影響を与える可能性があります。問題が発生した場合は、カードを新しいカードに交換してください。

GoPro テク：定期的に SD カードをフォーマットして、適切な状態に保ってください。フォーマットするとメディアがすべて消去されます。再フォーマット前に必ず保存してください。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして、「ユーザー設定」>「リセット」>「SD カードをフォーマット」の順にタップします。

ビデオと写真を保存する方法については、「[メディアの転送](#) (93 ページ)」をご参照ください。

カメラのセットアップ

リチャージャブルバッテリー

最大限のパフォーマンスを得るため、新しい GoPro では必ず GoPro リチャージャブルバッテリー (HERO10 Black) を使用してください。

GoPro テク：以下の操作でバッテリーの状態をチェックし、適切なバッテリーを使用していることを簡単に確認することができます。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして、「ユーザー設定」>「バージョン情報」>「バッテリー情報」の順にタップします。



警告:GoPro 純正以外のバッテリーを使用するとカメラのパフォーマンスが大幅に制限される可能性があります。GoPro 純正以外のバッテリーを使用すると、保証が無効になります。また火災、感電、その他の安全上のリスクが生じる可能性があります。

バッテリーの安全性と使用方法の詳細については、「[バッテリーの情報](#) (119 ページ)」をご参照ください。

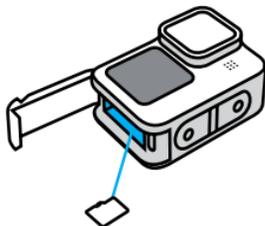
カメラのセットアップ

SD カードとバッテリーのセットアップ

1. ドアラッチのロックを解除し、ドアを開きます。



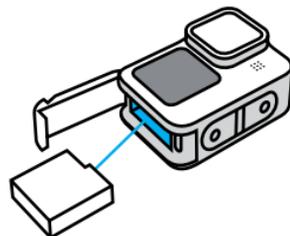
2. カメラをオフにしてバッテリーを取り外し、SD カードのラベルをバッテリーコンパートメント側に向けた状態でカードスロットに挿入します。



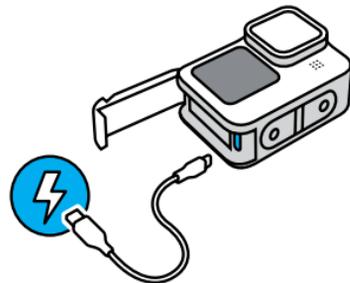
SD カードを取り出すには、カードを指の爪でスロット内に押し込みます。

カメラのセットアップ

3. バッテリーを装着します。



4. 付属の USB-C ケーブルでカメラを USB 充電器またはコンピューターに接続します。



バッテリーがフル充電されるには約 3 時間かかります。充電が完了すると、カメラステータスライトがオフになります。詳細については、「バッテリーの情報 (119 ページ)」をご参照ください。

GoPro テク:高速充電には、GoPro Supercharger (スーパーチャージャー、別売) を使用してください。

カメラのセットアップ

5. 充電が完了したら、ケーブルのプラグを抜き、ドアを閉じます。カメラを使用する前に、ドアラッチが閉じられ、ロックされていることを確認してください。



注:このカメラのドアは着脱式です。ドアを閉じた後、ドアがしっかりとロックされ、密閉されていることを確認してください。

カメラのセットアップ

カメラのソフトウェアを更新する
最新の機能を使用して最高のパフォーマンスを楽しむには、カメラのソフトウェアが最新であることを確認してください。

GoPro Quik アプリを使用した更新

1. Apple App Store または Google Play からアプリをダウンロードします。
2. 画面上の指示に従い、カメラをモバイルデバイスに接続します。新しいカメラソフトウェアが利用可能な場合は、アプリにインストール方法が表示されます。

手動による更新

1. gopro.com/update をご参照ください。
2. カメラのリストから「HERO10 Black」を選択します。
3. 「手動でカメラを更新」を選択し、指示に従います。

GoPro テク: 使用しているソフトウェアのバージョンを知りたい場合は、以下の手順で確認できます。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして「ユーザー設定」>「バージョン情報」>「カメラ情報」の順にタップします。

GoPro カメラの紹介

電源オン

HERO10 Black の電源をオンにするには、モードボタン  を押します。



電源オフ

電源をオフにするには、モードボタン  を 3 秒間長押しします。



警告：GoPro 本体およびマウントやアクセサリは、充分にご注意の上ご利用ください。使用者および周囲の人々に危険が生じないよう、使用時には常に周囲に気を配ってください。

現地の各種プライバシー法など、特定地域での録画を制限するすべての法律に従ってください。

GoPro カメラの紹介

フロントスクリーン

フロント LCD スクリーンには、カメラのステータスとレンズからのライブビューが表示されます。これにより、完璧にフレーミングされたショットを簡単に撮影できます。



1. 残りの録画時間／写真の枚数
2. バッテリーステータス
3. 現在のモード（ビデオ、写真、タイムラプス）
4. 撮影設定

GoPro カメラの紹介

ディスプレイオプション

フロントスクリーンには4つのディスプレイオプションがあります。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2.  をタップして、フロントスクリーンの設定にアクセスします。
3. 目的の設定のアイコンをタップします。

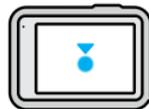
設定

説明

 フルスクリーン	ライブプレビューをフルスクリーンショットとして表示します。表示用の画像はトリミングされていますが、撮影自体はトリミングなしで実行されません。
 実際の画面	トリミングせずにレンズからライブプレビューを表示します。
 ステータスのみ	レンズからのライブプレビューを表示せずにカメラのステータスを表示します。
 画面オフ	画面をオフにします。この設定は、画面の光が撮影に影響する可能性がある暗い環境で使用します。この設定では、バッテリーの駆動時間が最大になります。

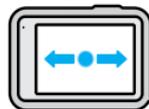
GoPro カメラの紹介

リアタッチスクリーンの使用



タップ

アイテムを選択し、設定のオン/オフを切り替えます。



左右にスワイプ

ビデオ、写真、タイムラプスの3モードを切り替えます。



画面の端から下にスワイプ

カメラが横向きになっている場合にダッシュボードを開く。



画面の端から上にスワイプ

最後に撮影した写真またはビデオを表示し、メディアギャラリーにアクセスします。



撮影画面を長押し

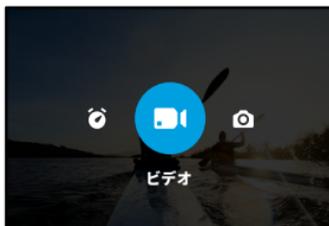
露出コントロールをオンにして調整する。

GoPro テク: リアスクリーンをタップすると、フロント/リアスクリーンでカメラのステータス情報とアイコンを非表示にできます。画面をもう一度タップするか、ボタンを押してすべてを元に戻します。

GoPro カメラの紹介

撮影モード

GoPro には 3 つのメイン撮影モードがあります。



リアタッチスクリーンを使用して、左右にスワイプして目的のモードにします。

ビデオ

標準、アクティビティ、シネマティックプリセットがあります。
詳細については、「[ビデオの録画](#) (50 ページ)」をご参照ください。

写真

写真には、写真、LiveBurst (ライブバースト)、バースト、ナイトのプリセットが含まれています。
詳細については、「[写真撮影](#) (60 ページ)」をご参照ください。

タイムラプス

タイムラプスには、TimeWarp (タイムワープ)、タイムラプス、ナイトラプスのプリセットが含まれています。
詳細については、「[タイムラプスの撮影](#) (69 ページ)」をご参照ください。

GoPro カメラの紹介

注意：GoPro の電源をオンにすると、読み込んですぐに使用できるプリセットを選択できます。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして「ユーザー設定」>「一般」>「初期設定プリセット」の順にタップします。

GoPro テク：カメラの電源がオンになっているときは、モードボタン  を押してモードを切り替えることができます。

ショットの撮影

1. 録画を開始するには、シャッターボタン  を押すだけです。



2. シャッターボタン  をもう一度押して、録画を停止します (ビデオ、タイムラプス、およびライブストリーミングのみ)。

GoPro カメラの紹介

タッチスクリーン

リアタッチスクリーンで、カメラの撮影設定を行うことができます。



1. 現在のモード (ビデオ、写真、タイムラプス)
2. 残りの録画時間／写真の枚数
3. カスタマイズ可能な画面上のショートカット
4. 撮影設定
5. バッテリーステータス

注意：この撮影設定は、GoProで縦方向に撮影する場合には使用できません。カメラを回転させる前に、必要な設定を選択してください。

GoPro テク：モードボタン  を押すと、大半の画面からすばやくこの画面に戻ることができます。

GoPro カメラの紹介

プリセットの変更

各撮影モードにはプリセットが用意されており、ショットに最適なモードと設定を簡単に切り替えることができます。

1. 撮影設定をタップします。



2. 使用するプリセットをタップします。プリセットの設定がすべてカメラにロックされ、準備が完了します。



GoPro カメラの紹介

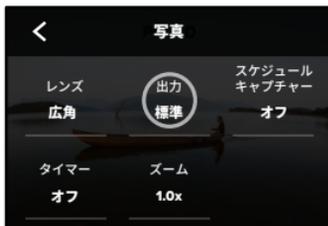
プリセットのカスタマイズ

数回タップするだけで、プリセットの設定を変更できます。

1. カメラを横向きにして、調整するプリセットの横にある  をタップします。



2. 変更したい設定をタップします。



GoPro カメラの紹介

画面に表示される指示で、オプションの概要を確認できます。



設定の詳細については、「仕様 (125 ページ〜)」をご参照ください。

3. 下にスクロールすると、高度な設定が表示されます。



すべての高度な設定の詳細については、「Protune (146 ページ〜)」をご参照ください。

GoPro カメラの紹介

4.  をタップして変更を保存し、プリセット画面に戻ります。



注意：予めカメラに登録されているプリセットは削除できませんが、好みに合わせてカスタマイズすることができます。また、独自のカスタムプリセットを作成することもできます。

詳細については、「[オリジナルのプリセットの作成](#) (27 ページ)」をご参照ください。

GoPro テク：撮影画面で撮影設定を長押しすると、直接設定メニューにスキップできます。

GoPro カメラの紹介

プリセットを初期設定に戻す

プリセットは、いつでも初期設定に戻すことができます。

1.  をタップします。



2.  をタップします。



3. 「完了」をタップします。

注意：設定のリストの最後までスクロールし、「元に戻す」をタップすることもできます。

GoPro カメラの紹介

ボタンでナビゲートする

GoPro は防水ですが、水中ではタッチスクリーンが機能しません。ボタンとフロントスクリーンを使用して、モードとプリセットを交換します。

1. カメラの電源がオンになっているときは、モードボタン  を押してモードを切り替えることができます。
2. モードボタンを押したまま、シャッターボタン  を押します。フロントスクリーンにメニューが表示されます。
3. モードボタンを押して、スクロールしながらプリセットを確認します。
4. シャッターボタンを押して、プリセットを選択します。

注意：ボタンを使用してナビゲートする場合は、ダッシュボードとメディアギャラリーは使用できません。

GoPro のカスタマイズ

独自のプリセットの作成

ゲレンデでの1日を撮影するのに最適な設定は、屋内での撮影にはあまり適していない場合があります。カスタムプリセットを使用すると、両方の設定を保存しておくことができるため、すぐに切り替えることができます。

1. 撮影設定をタップして、プリセットリストの一番下までスクロールし、 をタップします。



2. プリセットモードを選択します。



GoPro のカスタマイズ

設定をタップして変更します。



画面に表示される指示で、オプションの概要を確認できます。すべての設定の詳細については、「仕様 (125 ページ〜)」をご参照ください。

3. 下にスクロールすると、高度な設定が表示されます。



高度な設定の詳細については、「Protune (146 ページ〜)」をご参照ください。

GoPro のカスタマイズ

4. 終了したら、✓ をタップします。



5. プリセットのアイコンと名前を選択します。



6. ✓ をタップして、プリセットを保存します。

試した後にプリセットの微調整が必要になる場合があります。プリセットの横にある  をタップして調整します。

GoPro のカスタマイズ

プリセットを削除する

1.  をタップします。



2.  をタップします。



注意：設定のリストの最後までスクロールし、「消去」をタップすることもできます。

GoPro のカスタマイズ

推奨設定

以下は、お気に入りのアクティビティの撮影に最適なモードと設定です。プリセットの出発点としてそれらを試してから、自分に最適なものを見つけましょう。

アクティビティ	ビデオ	写真
空中	<ul style="list-style-type: none">• 4K60、広角レンズ• 1080p120、広角レンズ• 15x タイムワープビデオ	<ul style="list-style-type: none">• タイムラプスフォト (1秒間隔)、1080p120、広角レンズ• 連写 (30/3 レート)、広角レンズ
バイク	<ul style="list-style-type: none">• 4K30 4:3、広角レンズ• 2.7K60 4:3、広角レンズ• 15x タイムワープビデオ	<ul style="list-style-type: none">• タイムラプスフォト (5秒間隔)、広角レンズ
屋内	<ul style="list-style-type: none">• 4K30 4:3、広角レンズ• 1080p30、広角レンズ	<ul style="list-style-type: none">• 写真、広角レンズ
車両	<ul style="list-style-type: none">• 4K30 4:3、広角レンズ• 2.7K60 4:3、広角レンズ• 15x タイムワープビデオ	<ul style="list-style-type: none">• タイムラプスフォト (5秒間隔)、広角レンズ
マウント	<ul style="list-style-type: none">• 5.3K30、広角レンズ• 4K60 4:3、広角レンズ• 自動タイムワープビデオ	<ul style="list-style-type: none">• タイムラプスフォト (5秒間隔)、広角レンズ
屋外	<ul style="list-style-type: none">• 5.3K30、広角レンズ• 4K60 4:3、広角レンズ• 10x タイムワープビデオ	<ul style="list-style-type: none">• 写真、広角レンズ

GoPro のカスタマイズ

アクティビティ	ビデオ	写真
POV*	<ul style="list-style-type: none">4K60 4:3、広角レンズ4K120 4:3、広角レンズ15x タイムワープビデオ	<ul style="list-style-type: none">タイムラプスフォト (2 秒間隔)、広角レンズ連写 (30/3 レート)、広角レンズ
自撮り	<ul style="list-style-type: none">4K30 4:3、狭角レンズ4K60 4:3、広角レンズ	<ul style="list-style-type: none">写真、狭角レンズ、SuperPhoto、写真タイマー
雪	<ul style="list-style-type: none">4K60、広角レンズ1080p120、広角レンズ15x タイムワープビデオ	<ul style="list-style-type: none">タイムラプスフォト (1 秒間隔)、広角レンズ連写 (30/3 レート)、広角レンズ
トレイル	<ul style="list-style-type: none">4K30 4:3、広角レンズ4K60 4:3、広角レンズ15x タイムワープビデオ	<ul style="list-style-type: none">写真、広角レンズ
旅行	<ul style="list-style-type: none">5.3K30、広角レンズ4K60 4:3、広角レンズ10x タイムワープビデオ	<ul style="list-style-type: none">写真、広角レンズ
水中	<ul style="list-style-type: none">4K60、広角レンズ1080p240、広角レンズ	<ul style="list-style-type: none">タイムラプスフォト (2 または 5 秒間隔)、広角レンズ連写 (30/6 レート)、広角レンズ

* 視点 (POV) ショットは、ボディマウントまたはハンドヘルドマウントを使用して自分の視点から撮影されたショットです。

GoPro のカスタマイズ

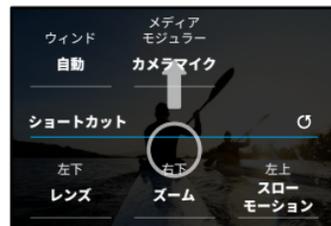
画面上のショートカットのカスタマイズ

画面上のショートカットを使用すると、カメラの撮影設定に1回のタップですばやくアクセスできます。各モードには独自の初期設定のショートカットがありますが、最もよく使用する設定に変更できます。プリセットごとに異なるショートカットを設定することもできます。

1. 調整するプリセットの横にある  をタップします。



2. 下にスクロールして画面上のショートカットまで移動します。

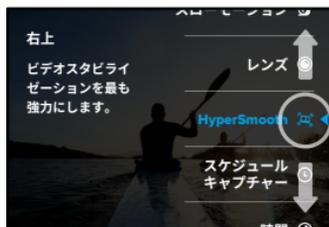


GoPro のカスタマイズ

3. 新しいショートカットを追加する場所をタップします。



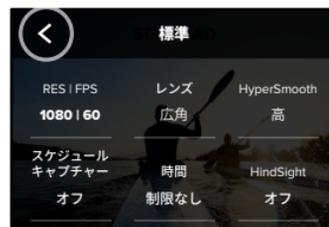
4. 右側にある使用可能なすべてのショートカットをスクロールして、目的のショートカットを選択します。



ショートカットの詳細については、「仕様 (125 ページ～)」および「Protune (146 ページ～)」をご参照ください。

GoPro のカスタマイズ

5. ◀ をタップして変更を保存し、プリセット画面に戻ります。



これでショートカットをタップするだけで、設定を変更できるようになります。

HERO10 Black パワーツール

HERO10 Black は、撮影の新たな可能性を広げるパワーツールを搭載。シャッターボタンを押す撮影では実現できなかった撮影オプションが得られます。

HINDSIGHT

HindSight (ハインドサイト) は、シャッターボタンを押した時点から最大 30 秒前までさかのぼってビデオを撮影できる機能です。この機能により、すでに過ぎ去った決定的瞬間まで記録できるようになります。

HindSight の使用

お子さんのプレーが試合の勝敗を決めたシーンを想像してみてください。これは、見逃したくない瞬間です。HindSight をオンにして、ショットをプレイングします。ここで録画を開始する必要はありません。ファインプレーが起きた後に、シャッターボタン  を押しましょう。HindSight により、シャッターボタンを押す前に撮影されたビデオ (最大 30 秒) が保存され、ビデオを停止するまで録画が続行されます。

HindSight のセットアップ

1. 「ビデオプリセット」を選択したら、撮影設定を押したまま、設定メニューに移動します。



HERO10 Black パワーツール

2. 「HindSight」をタップします。



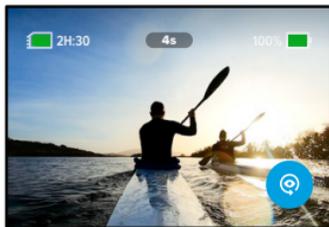
3. HindSight を 15 秒または 30 秒に設定します。



HERO10 Black パワーツール

リアタッチスクリーンに  が表示され、HindSight がオンになっていること通知されます。シャッターボタン  を押して任意のタイミングで録画を開始します。

HindSight バッファがいっぱいになると、画面の上部中央にあるインジケータが青色に変わります。つまり、カメラには、ここまでの 15 秒または 30 秒のビデオが保存されています。シャッターボタン  を押して録画を開始した場合にのみ、ビデオは保存されます。



注意：HindSight での撮影を開始する前に、撮影設定を完了してください。HindSight がオンになったら、設定は変更できなくなります。

HERO10 Black パワーツール

また「停止 HindSight」をタップして、HindSight をキャンセルし、バッテリーの電力を節約することもできます。



また HindSight をオンにした後、15 分経っても録画が開始されない場合、カメラ内で HindSight が一時停止されます。これもバッテリーの電力を節約するための機能です。



注意：HindSight は、機能を有効にしている間（録画していない時でも）ビデオを撮影し続ける機能です。使用方法によっては、通常のビデオモードで録画するよりも、カメラのバッテリー残量が速く消費される場合があります。

HERO10 Black パワーツール

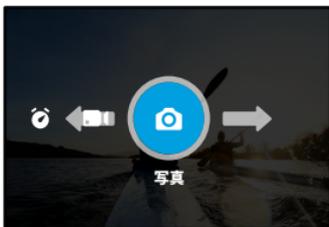
LIVEBURST

LiveBurstを使用すると、シャッターボタンを押す

1.5秒前および1.5秒後までが連写されます。連写された中から完璧なショットを探し出したり、連写全体をショートビデオとして共有したりできます。

LiveBurst のセットアップ

1. スワイプして写真モードに切り替えます。



2. 設定をタップします。



HERO10 Black パワーツール

3. プリセットリストから「LiveBurst」を選択します。



HERO10 Black パワーツール

スケジュールキャプチャー

スケジュールキャプチャーでは、GoPro が自動的にオンになり、最大 24 時間前にショットを撮影できるように設定できます。すべてのプリセットで使用できます。

スケジュールキャプチャーのセットアップ

1. 撮影画面で撮影設定を押しのまま、設定メニューに移動します。



2. 「スケジュールキャプチャー」をタップします。



HERO10 Black パワーツール

3. GoPro でショットを撮影するタイミングを設定します。



4. 時刻の設定後は、GoPro の電源をオフにするか、カメラの他のプリセットを引き続き使用できます。

注意：撮影後も GoPro はオンのままになります。「ユーザー設定」で指定した時間にわたりアイドル状態になると、自動的にオフになります。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして「ユーザー設定」>「一般」>「電源の自動オフ」の順にタップします。

GoPro テク：スケジュールキャプチャーを使用する場合は、デューレーションキャプチャーを使用してショットの長さを選択しましょう。撮影後、自動的にカメラの録画が停止されます。デューレーションキャプチャーを使用していない場合は、シャッターボタン  を押して録画を停止する必要があります。

HERO10 Black パワーツール

デュレーションキャプチャー

デュレーションキャプチャーを使用すると、GoPro が録画を開始し、自動的に停止するまでの時間を設定できます。ビデオ、TimeWarp、タイムラプス、ナイトラプスの各モードで、15 秒単位で 3 時間まで選択できます。

デュレーションキャプチャーのセットアップ

1. 撮影画面で撮影設定を押したまま、設定メニューに移動します。



2. 「時間」をタップします。



HERO10 Black パワーツール

3. 撮影時間を選択します。



4. シャッターボタン  を押して録画を開始します。GoPro は、設定された時間が経過すると自動的に録画を停止します。

注意：デュレーションキャプチャーでは、GoPro が録画する時間を設定します。最終的なビデオの長さは、使用しているモードによって異なります。TimeWarp ビデオおよびタイムラプスビデオで撮影した場合、保存される動画は設定した時間より短くなります。

GoPro テク：「制限なし」を選択すると、時間制限なしで映像を撮影できます。録画を停止するには、シャッターボタンを押します。

QuikCapture の使用

QuikCapture (クイックキャプチャー) を使えば、すぐ、簡単に GoPro の電源を入れ、撮影をすることができます。シャッターボタンを押すだけです。

QUIKCAPTURE でビデオを録画する

1. カメラの電源がオフの状態、シャッターボタン  を押します。



2. 録画を停止し、カメラの電源をオフにするには、シャッターボタン  をもう一度押します。

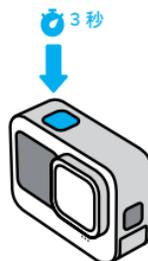
注意: QuikCapture を使用すると、最後に使用したビデオ設定で録画が開始されます。

その他のビデオオプションについては、「[ビデオの録画](#) (50 ページ)」をご参照ください。

QuikCapture の使用

QUIKCAPTURE でタイムラプスを撮影する

1. カメラがオフの状態、シャッターボタン  を約 3 秒長押ししてカメラをオンにします。最後に使用したタイムラプスマードで録画が開始されます。



2. タイムラプスを停止し、カメラの電源をオフにするには、シャッターボタン  をもう一度押します。

タイムラプスのオプションの詳細については、「[タイムラプスの撮影](#) (69 ページ)」をご参照ください。

QUIKCAPTURE をオフにする QuikCapture は初期設定でオンになっていますが、オフにすることができます。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2.  をタップします。

GoPro テク: 録画のときだけカメラの電源がオンになる QuikCapture を使用すれば、バッテリー残量を最大限に引き延ばすことができます。

HiLight タグの追加

ビデオや写真のお気に入りの場面にマークを付けるには、撮影中や再生中にモードボタン  を押します。HiLight (ハイライト) タグ  を追加することで、映像を見たり、ビデオを作成したり、特定のショットを探す際の検索が簡単になります。



GoPro Quik (クイック) アプリで映像を観ながら、音声コントロールで HiLight タグを追加することもできます。 をタップして、音声コントロールオンにし、「GoPro、ハイライト」と発声します。

GoPro テク: Quik アプリは、ビデオを作成するときに HiLight タグを自動検索します。これにより、お気に入りの場面がストーリーに含まれるようになります。

画面の向きの設定

カメラを回転させることで、撮影の横向きと縦向きを簡単に切り替えることができます。上下逆にマウントしても、正しい向きでビデオと写真が撮影できます。

シャッターボタン  を押すと、カメラの方向がロックされます。ジェットコースターに乗っているときのように、カメラを録画中に傾けると、映像も傾きます。すべてのひねりや回転が表現されます。

方向のロック

横向きまたは縦向きに画面をロックできます。これは、ボディマウントやハンドヘルドマウントを使用している場合に特に便利です。このような状況では、間違った向きでの撮影が発生する可能性が大幅に高くなるからです。

リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。

1. カメラを目的の方向に向けます。
2. ダッシュボードの  をタップします。

これで画面がロックされ、カメラの向きに一致します。

注意: この方法での画面のロックは、ユーザー設定で「方向」が「すべて」(初期設定) に設定されている場合のみ機能します。

横方向のロックの設定

GoPro を横方向でのみ撮影するように設定することもできます。

リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。

1. 左にスワイプして「ユーザー設定」>「ディスプレイ」>「方向」の順にタップします。
2. 「自動」(初期設定) から「横方向」に切り替えます。

カメラの向きが正しい場合も、逆になっている場合も、GoPro は正しい向きで録画を実行します。ダッシュボードで方向をロックすることもできます。

ビデオの録画

GoProには3つのビデオプリセットが用意されています。それぞれ独自の専門分野があります。プリセットを選択したら、シャッターボタン  を押して録画を開始します。

標準 (初期設定)

汎用性の高いプリセットで、あらゆる用途の録画に適しています。4Kビデオを30フレーム/秒 (fps) で撮影して、スマートフォンやテレビでフルスクリーン再生ができるようにします。デジタルレンズは、フレーム内により広い範囲を収められるよう広角に設定されています。

アクティビティ

このプリセットを使用して、お気に入りのアクティビティで最高に臨場感あふれる瞬間を撮影しましょう。SuperView (スーパービュー) デジタルレンズで、4Kビデオを60fpsで録画するため、クラシックなGoProスタイルのビデオを、高解像度で全画面再生できます。

シネマティック

驚きの5.3K高解像度ビデオを30fpsで撮影します。このプリセットは「リニア+水平維持」デジタルレンズを使用することで魚眼効果を滑らかにし、水平が非常に安定した、ドラマチックでシネマティックな映像を実現します。

ビデオの録画

画面上のショートカット

ビデオプリセットには4つのショートカットが初期設定されていますが、これらは任意のショートカットと置き換えることができます。

詳細については、「[画面上のショートカットのカスタマイズ](#) (33ページ)」をご参照ください。

スローモーション

ビデオの録画速度を変更するには、スローモーションショートカットをタップします。

1. 録画を開始する前に **2x** をタップします。



ビデオの録画

2. スライダーを使用して、1倍（24または30フレーム/秒）、2倍、4倍、8倍スローモーションのいずれかを選択します。



注意：利用できる速度は、選択した解像度とデジタルレンズによって異なります。5K 4:3で録画する場合、スローモーションは使用できません。

3. シャッターボタン  を押して録画を開始します。

GoPro テク：スローモーションで録画したビデオは、スローモーションまたは通常の速度で再生できます。

ビデオの録画

デジタルレンズ

GoProでのデジタルレンズの変更は、旧式のカメラでのレンズ交換と同様です。レンズは、ショットの視野角、クロップ、魚眼効果に影響します。

1.  をタップします。



2. オプションをスクロールして各オプションのライブプレビューを確認してから、目的のオプションをタップします。



注意：一部のデジタルレンズは、一部のフレームレートでのみ機能します。レンズを交換すると、必要に応じて GoPro が自動的にフレームレートを調整します。

ビデオの録画

HyperSmooth

HyperSmooth (ハイパースムーズ) ショートカットを使用すると、ビデオスタビライズのレベルをすばやく選択できます。

1. 録画を開始する前に  をタップします。



2. スライダーを使用して、HyperSmooth の「オフ」、「標準」、「高」、または「ブースト」を選択します。



詳細については、「[HyperSmooth ビデオスタビライゼーション](#) (135 ページ)」をご参照ください。

ビデオの録画

注意:HyperSmooth オプションは、選択したビデオ解像度とフレームレートによって異なる場合があります。HyperSmooth ブーストは、狭角デジタルレンズを選択すると自動的にオンになります。

GoPro テク :HyperSmooth ブーストは、画像をしっかりとクロップすることで、最高レベルのビデオスタビライズを実現します。HyperSmooth をオフにすると、手ぶれ未補正のコンテンツがクロップなしで撮影されます。「標準」あるいは「高」の設定を使用すると、広く安定したビデオが撮影できます。

ビデオの録画

タッチズーム

タッチズームを使用すると、アクションのクローズアップ撮影に役立ちます。

1.  をタップします。



2. スライダーを使用して、ズームのレベルを選択します。



3. ズームレベルは、再調整するか、撮影モードを切り替えるか、カメラの電源をオフにするまでロックされています。

ビデオの設定

ビデオ設定の詳細を説明します。 をタップしてから、変更する設定をタップします。



モード（カスタムプリセットの作成時に使用可能）
ビデオ（通常のビデオ）またはループのモードを選択します。

ループ

ループを使用すると、気に入った瞬間が撮影できるまで連続的にループ録画をすることで、SD カードのスペースを節約できます。何かが起こるのを待っているときに使用したり（釣りなど）、何も起こらないかもしれないときに使用します（車載カメラなど）。

仕組み：

- ループの間隔を 5 分に設定すると、シャッターボタン  を押して録画を停止した直前の 5 分のみが保存されます。
- 5 分間録画してシャッターボタン  を押さなかった場合は、カメラはループバックして、ビデオの開始地点から重ね録りします。

解像度 | FPS

解像度 (RES) は、アスペクト比によってグループ化されています。幅の狭い 4:3 の解像度 (自撮りや POV ショットに最適) は、最上列に配置されています。ワイドスクリーンの 16:9 の解像度 (シネマティックなショットに最適) は、最下段に配置されています。

ビデオの設定

フレーム / 秒 (fps) は、画面の下部に配置されています。選択した解像度のフレームレートは、すべて白で表示されます。使用できないフレームレートはグレーで表示されます。速い動きやスローモーションショットの撮影には、より高いフレームレートを使用します。

初期設定の解像度と fps は、選択したプリセットによって異なります。

詳細については、以下をご参照ください。

- [ビデオの解像度](#) (142 ページ)
- [フレーム / 秒 \(FPS\)](#) (128 ページ)
- [アスペクト比](#) (129 ページ)

レンズ

撮影に最適なデジタルレンズを選択します。SuperView、広角、リニア、リニア+水平維持、狭角があります。初期設定のレンズは、プリセットによって異なります。注意：利用できるレンズは、選択した解像度とフレームレートによって異なります。

詳細については、「[デジタルレンズ \(ビデオ\)](#) (130 ページ)」をご参照ください。

間隔 (ループ)

ループバックしてビデオの先頭から重ね撮りするまでに、GoPro が録画する時間を選択します。初期設定の間隔は 5 分です。

詳細については、「[ループの間隔](#) (135 ページ)」をご参照ください。

HYPERSMOOTH

サイクリング、スキーなどでの手持ち撮影に最適です。HyperSmooth ビデオスタビライズ機能が、ジンバルを使用しているかのような驚くほど滑らかな映像を実現します。使用可能な設定は「オフ」、「標準」、「高」、「ブースト」です。

ビデオの設定

詳細については、「[HyperSmooth ビデオスタビライゼーション](#) (135 ページ)」をご参照ください。

スケジュールキャプチャー

GoPro の電源を自動的にオンにして録画を開始するタイミングを設定します。

時間

カメラが自動的に録画を停止するまでの時間を選択できます。

HINDSIGHT

シャッターボタン  を押す前に、15 秒または 30 秒のビデオを保存するかどうかを選択します。

タイマー

ビデオのタイマーを 3 秒または 10 秒に設定します。

ズーム

タッチズームを使用すると、アクションのクローズアップ撮影に役立ちます。右側のスライダーを使用して、ズームレベルをロックします。

PROTUNE

Protune (プロチューン) では、ビットレート、カラー、ISO 上限、露出、マイクの設定などの詳細設定を手動で制御できます。

詳細については、「[Protune](#) (146 ページ〜)」をご参照ください。

写真撮影

GoPro には 4 つの写真プリセットが用意されています。撮影する写真のタイプを選択してシャッターボタン  を押すだけで、ショットを撮影できます。初期設定のデジタルレンズは広角に設定されており、すべての写真は 23MP で撮影されます。

写真 (初期設定)

このプリセットを使用して、SuperPhoto (スーパーフォト) 画像処理で写真を撮影します。シャッターボタン  を 1 度押すと、1 枚写真を撮影します。

LIVEBURST

LiveBurst を使用すると、シャッターボタン  を押す 1.5 秒前および 1.5 秒後までが連写されます。連写された中から完璧なショットを探し出したり、連写全体をショートビデオとして共有したりできます。すべての LiveBurst ショットは 12MP で撮影されます。

バースト

バーストでは、高速レートで一連の写真を撮影します。速い動きの撮影に最適です。光量に合わせてながら、1 秒間に最大 25 枚までの写真が自動撮影できるようにプリセットされています。

ナイト

ナイトプリセットでは、ショットにより多くの光量を取り込まれるようにカメラのシャッター速度が自動的に調整されます。薄暗いシーンや暗いシーンに最適ですが、カメラが動くハンドヘルドやマウント撮影にはお勧めしません。

写真撮影

画面上のショートカット

写真プリセットには 4 つのショートカットが初期設定されていますが、これらは任意のショートカットと置き換えることができます。

詳細については、「[画面上のショートカットのカスタマイズ](#) (33 ページ)」をご参照ください。

注意:「出力」は写真プリセットでのみ初期設定されています。お好みで連写およびナイトモードに設定することもできます。

写真タイマー

タイマーを使用して、自撮りや集合写真などを撮影します。

1.  をタップします。



写真撮影

2. 3 秒 (自撮り向け) または 10 秒 (集合写真向け) を選択します。



3. シャッターボタン  を押します。カメラがカウントダウンを開始します。また、電子音が鳴り、前面のステータスライトが点滅します。写真撮影の瞬間が近づくと、電子音とライトの点滅の速度が上がります。



注意：低光量での不鮮明なショットとならないよう、ナイトフォトモードに切り替えるとタイマーは自動的に 3 秒に設定されます。

写真撮影

デジタルレンズ

デジタルレンズは、写真の視野外角、クロップ、魚眼効果に影響します。交互に切り替えて、ショットに最適なレンズを確認してください。

1. **W** をタップします。



2. オプションをスクロールして各オプションのライブプレビューを確認してから、目的のオプションをタップします。



注意：LiveBurst では広角レンズのみが使用されます。

写真撮影

出力

GoPro では、写真の処理および保存方法を指定できます。写真モード（一度に写真を1枚ずつ撮影）ではほとんどのオプションを利用できます。

出力	モード	説明
SuperPhoto (初期設定)	写真	高度な画像処理を自動的に使用して、どんな光量でも最適な写真を実現します。各ショットの処理には時間がかかる場合があります。
HDR	写真	複数の写真を1つのショットにまとめます。明るい光と影が混在したシーンのディテールを引き出します。
標準	写真、連写、ナイト	写真を標準の .jpg ファイルで保存します。
RAW	写真、連写、ナイト	各写真を .jpg および .gpr ファイルとして保存して、使い慣れた写真編集ソフトで補正することができます。

写真撮影

1.  をタップします。



2. 右側のオプションをスクロールして、使用したいオプションをタップします。



写真撮影

タッチズーム

タッチズームを使用すると、アクションのクローズアップ撮影に役立ちます。

1.  をタップします。



2. スライダーを使用して、ズームのレベルを選択します。



3. ズームレベルは、再調整するか、撮影モードを切り替えるか、カメラの電源をオフにするまでロックされています。

GoPro テク: 連写、写真タイマー、ズームは、任意に組み合わせることで自分好みの撮影条件が設定できます。

写真の設定

使用可能な写真設定の概要を説明します。 をタップして設定メニューにアクセスし、変更する設定をタップします。



レンズ

撮影に最適なデジタルレンズを、広角、リニア、狭角から選択します。右側をスクロールして、それぞれのライブプレビューを確認してから、設定したいレンズをタップします。

詳細については、「[デジタルレンズ \(写真\)](#) (139 ページ〜)」をご参照ください。

出力 (写真、バースト、ナイト)

画像の処理レベルとファイルの保存方法を設定します。SuperPhoto、HDR、標準、または RAW 形式から選択ができます。

詳細については、以下をご参照ください。

- [SuperPhoto](#) (136 ページ〜)
- [ハイダイナミックレンジ \(HDR\)](#) (136 ページ〜)
- [RAW 形式](#) (140 ページ〜)

スケジュールキャプチャー

GoPro の電源を自動的にオンにして写真を撮影するタイミングを設定します。

写真の設定

タイマー

写真のタイマーを3秒または10秒に設定します。

ズーム

タッチズームを使用すると、アクションのクローズアップ撮影に役立ちます。右側のスライダーを使用して、ズームレベルをロックします。

シャッター（ナイト）夜間の撮影時に、カメラのシャッターを開いたままにする時間を設定します。暗い場所での撮影では長めの露出を選択してください。

詳細については、「[シャッター速度](#) (138 ページ)」をご参照ください。

バーストレート（バースト）

1秒、3秒、6秒、10秒のバースト中に、カメラが連写する写真の枚数を設定します。

詳細については、「[連写レート](#) (138 ページ)」をご参照ください。

PROTUNE（写真、バースト、ナイト）

Protuneでは、シャッター、ピットレート、カラー、ISO上限、露出などの詳細設定を手動で制御できます。

詳細については、「[Protune](#) (146 ページ～)」をご参照ください。

タイムラプスの撮影

タイムラプスは、間隔を開けながらビデオを撮影するモードで、長時間のイベントをシェア可能な短いビデオにしてくれます。このGoProには3つのタイムラプスプリセットが用意されています。シャッターボタン  を押すだけで録画が開始され、もう一度押すと停止します。

TIMEWARP（初期設定）

HERO10 Black は、撮影者が動いている場合でも、TimeWarp ビデオスタビライズ機能を使用して、最高に滑らかなタイムラプスビデオを素早く撮影できます。このプリセットでは、撮影速度を最高の結果が得られるように自動調節しながら、広角デジタルレンズで1080pビデオを撮影します。

録画中に画面をタップすると、スピードランプが有効になります。これにより、TimeWarp は実際の速度または半分の速度まで速度が落ちます。画面をもう一度タップすると、元の速さに戻ります。

GoPro テク：モードボタン  を使用して、スピードランプを有効にすることもできます。設定メニューの「ショートカット」まで下にスクロールして設定します。

タイムラプスの撮影

タイムラプス

マウントされて静止しているカメラからタイムラプスビデオを撮影する場合は、このプリセットを使用します。夕焼け、街の風景、アートプロジェクトなどの、長時間撮影に最適です。広角デジタルレンズで毎 0.5 秒に 1 回画像をキャプチャーし、解像度 1080p のビデオを録画します。

ナイトラプス

ナイトラプスは、光量の少ない暗い場所でタイムラプスビデオを撮影するために用意されたものです。より多くの光量を取り込むようにシャッター速度を自動調節し、最良の結果が得られる間隔を選択します。広角デジタルレンズを用いた 1080p ビデオが録画されます。ナイトラプスの使用は、カメラが動くハンドヘルドやマウント撮影にはお勧めしません。

GoPro テク：HERO10 Black でも、タイムラプスおよびナイトラプスフォトの撮影ができます。設定にある「形式」に移動し、「写真」を選択するだけです。

タイムラプスの撮影

画面上のショートカット

タイムラプスのプリセットには 2 つのショートカットが初期設定されていますが、これらは任意のショートカットと置き換えることができます。

詳細については、「[画面上のショートカットのカスタマイズ](#) (33 ページ)」をご参照ください。

GoPro テク：初期設定されているショートカットは 2 つですが、最大 4 つまで設定できます。

デジタルレンズ

デジタルレンズを切り替えて、ショットの視野角、クロップ、魚眼効果を変更します。

1. **W** をタップします。



タイムラプスの撮影

2. オプションをスクロールして各オプションのライブプレビューを確認してから、目的のオプションをタップします。



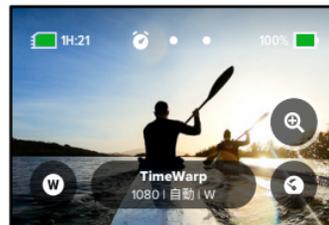
注意：利用できるレンズは、選択したモードによって異なります。

タイムラプスの撮影

タッチズーム

タッチズームを使用すると、アクションのクローズアップ撮影に役立ちます。

1.  をタップします。



2. スライダーを使用して、ズームのレベルを選択します。



3. ズームレベルは、再調整するか、撮影モードを切り替えるか、カメラの電源をオフにするまでロックされています。

タイムラプスの撮影

スピードランプ (TimeWarp)

タイムワープビデオを1倍速のリアルスピード (30fps) または 0.5 倍速のハーフスピード (60fps) まで速度を落とすようにスピードランプを設定します。

注意:ハーフスピードは、1080p のコンテンツを撮影する場合に使用できます。

1.  をタップすると、スピードランプがリアルスピード (初期設定) からハーフスピードに切り替わります。



2. 録画中に画面をタップすると、ビデオの速度が低下します。もう一度タップすると、元の速度に戻ります。



タイムラプスの設定

ここではタイムラプスの設定を調整できます。 をタップしてから変更する設定をタップします。



解像度

解像度 (RES) は、アスペクト比によってグループ化されています。幅の狭い 4:3 の解像度 (自撮りや POV ショットに最適) は、最上列に配置されています。ワイドスクリーンの 16:9 の解像度 (シネマティックなショットに最適) は、最下段に配置されています。

詳細については、以下をご参照ください。

- [ビデオの解像度 \(TimeWarp、タイムラプスビデオ\)](#) (142 ページ)
- [アスペクト比](#) (129 ページ)

レンズ

撮影に最適なデジタルレンズを、広角、リニア、狭角から選択します。右側をスクロールして、それぞれのライブプレビューを確認してから、設定したいレンズをタップします。

注意: 利用できるレンズは、選択したモードによって異なります。

詳細については、「[デジタルレンズ \(写真\)](#) (139 ページ)」をご参照ください。

タイムラプスの設定

スケジュールキャプチャー

GoPro の電源を自動的にオンにして録画を開始するタイミングを設定します。

時間

カメラが自動的に録画を停止するまでの時間を選択できます。

タイマー

タイムラプスのタイマーを 3 秒または 10 秒に設定します。

ズーム

タッチズームを使用すると、アクションのクローズアップ撮影に役立ちます。右側のスライダーを使用して、ズームレベルをロックします。

速度 (TIMEWARP)

ビデオの速度を設定します。短時間のアクティビティ用の低速 (2 倍速または 5 倍速) か、長時間のアクティビティ用の高速 (10 倍速、15 倍速、または 30 倍速) を選択します。速度設定を「自動」のままにしておく (初期設定)、動き、シーン検出、光量に基づいて GoPro が自動的に速度を調整します。

詳細については、「[タイムワープビデオの速度](#) (141 ページ)」をご参照ください。

スピードランプ (TIMEWARP)

選択すると、録画中にタイムワープビデオの速度をリアルスピードまたはハーフスピードまで減速させます。

詳細については、「[タイムワープビデオの速度](#) (141 ページ)」をご参照ください。

タイムラプスの設定

形式 (タイムラプス、ナイトラプス)

タイムラプスとナイトラプスのビデオ撮影から、タイムラプスとナイトラプスの写真に切り替えます。この写真形式では、設定した間隔で連続した一連の写真を撮影します。これを使用すると、撮影はカメラに任せてアクティビティに集中できます。撮影後に、すべての写真の中からベストショットを探し出すことができます。

間隔 (タイムラプス)

カメラがビデオの 1 フレームを取り出したり、写真を撮影したりする頻度を選択します。短時間のアクティビティでは短い間隔を使用し、長時間のアクティビティでは長い間隔を使用してください。

詳細については、「[タイムラプスの間隔](#) (143 ページ)」をご参照ください。

間隔 (ナイトラプス)

低光量や超低光量の場合に、カメラが写真を撮影する頻度を設定します。動きや光量が多い場合は、短い間隔を選択します。動きや光がほとんどない場合は、長い間隔を使用します。

詳細については、「[ナイトラプスの間隔](#) (145 ページ)」をご参照ください。

出力 (タイムラプスフォト、ナイトラプスフォト)

写真を標準的な .jpg または RAW ファイルで保存します。

詳細については、「[RAW 形式](#) (140 ページ)」をご参照ください。

シャッター (ナイトラプス)

夜間の撮影時に、カメラのシャッターを開いたままにする時間を設定します。暗い場所での撮影では長めの露出を選択してください。

詳細については、「[シャッター速度](#) (138 ページ)」をご参照ください。

PROTUNE (TIMEWARP、タイムラプスビデオ、ナイトラプスビデオ) ビデオの詳細設定を手動で制御できます。

詳細については、「[Protune](#) (146 ページ〜)」をご参照ください。

ライブストリーミング + ウェブカメラモード

ライブストリーミングの設定

1. GoPro Quik アプリに接続します。詳細については、「[GoPro Quik アプリへの接続](#) (91 ページ)」をご参照ください。
2. アプリで  をタップして、カメラを制御します。
3.  をタップして、指示に従ってストリーミングを設定します。

詳しい手順については、gopro.com/live-stream-setup をご参照ください。

GOPRO をウェブカメラとして使用する

ライブ配信するには、GoPro とコンピューターの両方がウェブカメラモードに設定されている必要があります。カメラは初期設定でウェブカメラモードになっています。付属の USB-C ケーブルを使用してカメラをコンピューターに接続し、gopro.com/webcam の手順に従ってセットアップします。

露出コントロール

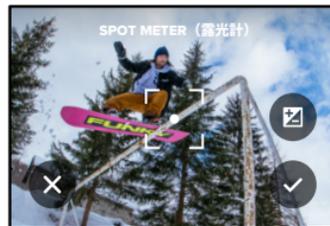
GoPro はシーン全体をスキャンして、撮影の露光レベルを選択します。露出コントロールを使用して、撮影画面から選んだ一領域に合わせた露光量を設定することができます。

タッチスクリーンで映像のプレビューを確認します。暗すぎる部分や明るすぎる部分がある場合は、露出コントロールを試してください。

露出コントロールの設定

例えば晴れた日にスノーボードをしているとき、被写体のジャケットに露出をロックすると良いでしょう。露出ロックを使用すると、非常に明るい雪に反応してショットが露出アンダー（黒つぶれ）になることを防止できます。

1. 角括弧が表示されるまで、リアタッチスクリーンの任意の場所をタップして押し続けます。露出は角括弧内の領域に基づいて調整されます。



GoPro テク : 画面の中央をタップして押し続けると、露光計が表示されます。画面中央の露光に基づいて露出を設定します。

露出コントロール

2. 画面の他の領域に角括弧をドラッグすることで露出を変更できます。



3. 輝度は、 をタップして微調整できます。この手順により、露出値の補正 (EV 値) を調整できます。



上にスライドすると、画像が明るくなります。下にスライドすると暗くなります。どちらの方向でも最大 2 か所の停止位置を調整できます。

露出コントロール

4. 画面をチェックして、露出が適正に見えるかどうかを確認します。角括弧の内側の  をタップして、露出をロックします。また  をタップして変更をキャンセルできます。



露出コントロール

露出コントロールをオフにする
撮影画面の角括弧をタップすると、露出コントロールがオフになり、カメラが全画面自動露出にリセットされます。



注意：露出コントロール中に EV 値を調整した場合でも、露出コントロールをオフにすると、EV 値は初期設定に戻されます。詳細については、次をご参照ください：[露出値の補正 \(EV 値\)](#) (150 ページ)

音声で GoPro を操作

音声コントロールを使用すると、GoPro をハンズフリーで簡単に操作できます。ハンドルバーやスキーのストックなどで手がふさがっているときに便利です。実行したい操作を GoPro に話しかけましょう。

音声コントロールのオン/オフの切り替え

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2.  をタップして音声コントロールをオンまたはオフにします。

音声コントロールでの撮影

音声コントロールをオンにすると、GoPro に話しかけるだけで撮影を開始できます。

コマンド	説明
GoPro、撮影	カメラに設定されているモードで撮影を開始します。
GoPro、撮影ストップ	ビデオモードおよびタイムラプスモードでの撮影を停止します。写真、LiveBurst、連写モードは自動的に停止します。

GoPro テク：「GoPro、撮影」と「GoPro、撮影ストップ」と発声すると、ハンズフリーでシャッターボタンを押せます。これらの音声コマンドは、その時点のカメラモードと設定で撮影を開始/停止します。

音声で GoPro を操作

音声コマンドリスト

音声コマンドには次の 2 種類のコマンドがあります。アクションコマンドおよびモードコマンド。

アクションコマンドの使用

モードを直ちに切り替えることができます。ビデオを録画した直後でも、「GoPro 写真」と言えば、手動によるモードの切り替えなしで写真を撮影することができます。

アクションコマンド	説明
GoPro、ビデオスタート	ビデオの録画を開始します。
GoPro、ハイライト	撮影中に HiLight タグを追加します。
GoPro、ビデオストップ	ビデオ撮影を停止します。
GoPro、写真	写真を 1 枚撮影します。
GoPro、バースト	連写で写真を撮影します。
GoPro、タイムラプススタート	最後に使用したタイムラプスモードで撮影を開始します。
GoPro、タイムラプスストップ	タイムラプスの撮影を停止します。
GoPro、電源オフ	カメラの電源をオフにします。

音声で GoPro を操作

モードコマンドの使用

モードコマンドで、いつでも撮影モードを切り替えることができます。「GoPro、撮影」と言うか、シャッターボタンを押して撮影します。

モードコマンド	説明
GoPro、ビデオモード	カメラをビデオモードに切り替えます (録画は 開始しません)。
GoPro、写真モード	カメラを写真モードに切り替えます (撮影は 開始しません)。
GoPro、タイムラプスモード	タイムラプスフォトモードにカメラを切り替えます (タイムラプスフォト撮影は 開始しません)。

GoPro テク: ビデオまたはタイムラプスを録画している場合は、新しいコマンドを試す前に、シャッターボタンを押すか、「GoPro、撮影ストップ」と発声して録画を停止する必要があります。

音声で GoPro を操作

カメラのコマンドの完全なリストを参照する

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして「ユーザー設定」>「音声コントロール」>「コマンド」の順にタップします。

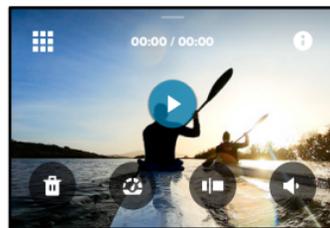
音声コントロールの言語を変更する

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして「ユーザー設定」>「音声コントロール」>「言語」の順にタップします。

注意：音声コントロールは、風、ノイズ、カメラとの距離によって影響を受ける場合があります。最高のパフォーマンスを得るために、カメラをきれいに保ち、ごみを拭き取ります。

メディアの再生

上にスワイプすると、最後に撮影したビデオ、写真、連写のいずれかが表示されます。左または右にスワイプすると、SD カードの他のすべてのファイルが表示できます。



メディアギャラリーには、次の再生オプションが含まれています。

- || 再生を一時停止する
- ▶ 再生を再開する
- ⋮ SD カードのすべてのメディアを表示する
- ⓘ ショットの撮影に使用されるすべてのモードと設定を表示する
- 🗑️ SD カードからファイルを削除する
- 🔄 スローモーション／通常速度で再生する

メディアの再生

 スライダーを使用してビデオ、連写、タイムラプス写真を閲覧する

 HiLight タグを追加／削除する

 再生音量を調整する

 連写または連続写真のグループで前後の写真に移動する

注意:再生オプションは、表示しているメディアのタイプによって異なります。

GoPro テク:一部の再生オプションは、カメラを縦向きに持っている場合は使用できません。カメラを回転する前に、横向きでこれらの設定を調整します。

メディアの再生



ギャラリービューの使用

ギャラリービューを使用すると、SD カードに保存されているすべてのビデオと写真にすばやくアクセスできます。

1. 再生画面で  をタップします。
2. 上にスワイプしてメディアをスクロールします。
3. フルスクリーンビューで表示するにはビデオや写真をタップします。
4.  をタップしてファイルを選択します。
5. 再生画面に戻るには、 をタップします。

注意:ギャラリービューは、カメラを縦向きに持っている場合は使用できません。また、SD カードに保存されているコンテンツの数が多いほど読み込みに時間がかかります。

メディアの再生

複数のファイルの削除

1.  をタップします。
2. 削除するすべてのファイルをタップします。ファイルを選択解除するには、ファイルをもう一度タップします。
3. 選択したファイルを削除するには、 をタップします。

モバイルデバイスでビデオ + 写真を見る

1. カメラを GoPro Quik アプリに接続します。詳細については、「[GoPro Quik アプリへの接続](#) (91 ページ)」をご参照ください。
2. アプリケーションのコントロールを使用して、ビデオと写真を再生、編集、共有します。

GoPro テク: GoPro Quik アプリを使用して、ビデオから静止写真を取り込んだり、長時間のコンテンツから短い共有可能なビデオを作成したり、スマートフォンにメディアを保存したりできます。

コンピューターでビデオと写真を見る

コンピューターでメディアを表示するには、最初にファイルをコンピューターに保存する必要があります。詳細については、「[メディアの転送](#) (93 ページ)」をご参照ください。

GoPro Quik アプリへの接続

GOPRO QUIK アプリへの接続

GoPro Quik アプリを使用して、GoPro を制御し、外出先でビデオや写真を共有したり、コンテンツを効果や音楽と同期させたビデオストーリーに自動変換したりできます。

初回の接続

1. Apple の App Store または Google Play から GoPro Quik アプリをダウンロードします。
2. 画面上の指示に従いカメラに接続します。

iOS に関する注意: プロンプトが表示されたら、GoPro Quik アプリからの通知を許可して、ビデオが使用できるようになっていることを確認します。詳細については、「[ビデオストーリーの作成](#) (93 ページ)」をご参照ください。

2 回目以降の接続

1 回接続すれば、カメラの「接続」メニューから接続を開始できます。

1. カメラのワイヤレス接続がオンになっていない場合は、リアスクリーンを下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして「ユーザー設定」>「接続」>「デバイスの接続」の順にタップします。
3. GoPro Quik アプリの画面の指示に従って接続します。

GoPro Quik アプリへの接続

接続速度の設定

他のモバイル機器と接続する場合、GoPro は 5GHz の Wi-Fi 帯域（最高速）を使用するように設定されています。

デバイスまたは地域が 5GHz をサポートしていない場合は、Wi-Fi 帯域を 2.4GHz に変更します。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして、「接続」>「Wi-Fi 帯域」の順にタップします。

メディアの転送

ビデオストーリーの作成

ビデオや写真を自動的にスマートフォンに送信するように GoPro を設定できます。GoPro Quik アプリでは、これらの設定を使用して、音楽や効果付きの完全編集されたビデオストーリーを作成します。

1. カメラを GoPro Quik アプリに接続します。詳細については、「[GoPro Quik アプリへの接続](#) (91 ページ)」をご参照ください。
2. アプリのホーム画面で下にスワイプします。直近のセッションからのショットがスマートフォンにコピーされ、完全編集されたビデオに変換されます。
3. ビデオをタップして表示します。
4. 必要な編集を行います。
5. ストーリーを保存するか、友人や家族、フォロワーと共有することができます。

最高のショットを見つけるには

最高のショットには忘れずに HiLight タグをつけましょう。GoPro Quik アプリは、ビデオを作成するときにタグを自動検索します。このため、お気に入りの場面がストーリーに含まれるようになります。

GoPro も、カメラに顔を向けたり、笑ったりする動作を検知します。これらのショットのデータに自動でタグ付けされるため、アプリでビデオに適したショットを選び出すことができます。

詳細については、「[HiLight タグの追加](#) (48 ページ)」をご参照ください。

メディアの転送

有線接続でスマートフォンに転送する

ビデオや写真の転送に、適切なケーブル/アダプター（別売）を使用して、GoPro をスマートフォンに接続します。

1. 適切なケーブル/アダプター（別売）を使用して、GoPro をスマートフォンに接続します。
2. スマートフォンで GoPro Quik アプリを起動し、画面の指示に従います。

携帯電話 **ケーブルまたはアダプターが必要です。**

Android	標準的な USB-C — USB-C
---------	--------------------

USB-C ポート搭載の iOS デバイス	標準的な USB-C — USB-C
-----------------------	--------------------

Lightning ポート搭載の iOS デバイス	標準的な USB-A — USB-C および Apple Lightning — USB カメラアダプター
---------------------------	---

コンピューターへの転送

SD カードからコンピューターにメディアをコピーすれば、コンピューター上で再生や編集ができます。

1. カメラから SD カードを取り外します。
2. カードを SD カードリーダーまたはアダプターに挿入します。
3. カードリーダーをコンピューターの USB ポートに接続するか、アダプターを SD カードスロットに挿入します。
4. ファイルをコンピューターにコピーします。

メディアの転送

クラウドへの自動アップロード

GoPro サブスクリプションを使用すると、メディアをクラウドに自動的にアップロードし、任意のデバイスから表示、編集、共有できます。

1. gopro.com/subscribe または GoPro Quik アプリで、GoPro サブスクリプションを契約します。
2. カメラを GoPro Quik アプリに接続します。詳細については、「[GoPro Quik アプリへの接続](#) (91 ページ)」をご参照ください。
3. カメラ選択画面で、 をタップします。
4. カメラを電源に接続します。アップロードが自動的に開始されます。

一旦設定すると、自動アップロードを開始するためにカメラをアプリに接続する必要はありません。

注意：オリジナルファイルは、クラウドにバックアップされた後でも、カメラに残っています。

メディアの転送

手動クラウドアップロードに切り替える

メディアは、好きなときに手動でクラウドへアップロードすることもできます (GoPro を電源コンセントに接続し、自動アップロードをオフにする必要があります)。

1. カメラを電源に接続します。
2. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
3. 「ユーザー設定」>「GoPro サブスクリプション」>「手動アップロード」をタップします。

クラウドメディアへのアクセス

1. デバイスで GoPro Quik アプリを開きます。
2.  をタップし、「クラウド」を選択して、コンテンツの表示、編集、共有を行います。

GoPro テク: クラウドメディアを使用して、GoPro Quik アプリでビデオストーリーを作成します。新しいストーリーを作り始めるときは、「クラウドメディア」を選択するだけです。

メディアの転送

自動アップロードのオフ

カメラが電源コンセントに接続されるか、フル充電されるたびにアップロードを行うのを停止します。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして「接続」>「GoPro サブスクリプション」>「自動アップロード」の順にタップします。
3. 「オフ」をタップします。

別のワイヤレスネットワークへの接続

1. カメラを GoPro Quik アプリに接続します。詳細については、「[GoPro Quik アプリへの接続](#) (91 ページ)」をご参照ください。
2. 接続したら、アプリの「自動アップロードの管理」をタップします。
3. アプリで「Wi-Fi ネットワーク」をタップします。
4. Wi-Fi ネットワークを選択します。
5. Wi-Fi のパスワードを入力します。
6. 「接続」をタップします。

GOPRO サブスクリプションのユーザー設定の変更

自動アップロードの設定の管理、ワイヤレスネットワークの設定などを行います。

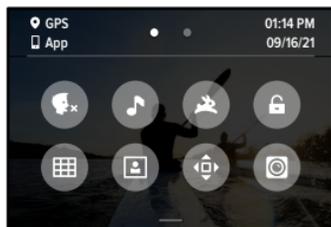
1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして「接続」>「GoPro サブスクリプション」の順にタップします。

注意: GoPro サブスクリプションは、サインアップ後に、ユーザー設定で利用可能になります。

「接続」および「ユーザー設定」の設定

ダッシュボードの使用

カメラを横向きにして、リアスクリーンを下にスワイプすることでダッシュボードにアクセスできます。



ダッシュボードの機能

ダッシュボードでは、次の設定をタップしてオンとオフを簡単に切り替えることができます。

- | | |
|--|---|
|  音声コントロール |  グリッド |
|  カメラの電子音 |  フロントスクリーン設定 |
|  QuikCapture |  方向ロック |
|  画面ロック |  Max レンズモジュラーモード |

「接続」および「ユーザー設定」の設定

(1)

接続

リアスクリーンを下にスワイプしてダッシュボードにアクセスし、左にスワイプします。「接続」をタップして、次の設定を調整します。

ワイヤレス接続

カメラのワイヤレス接続のオンとオフを切り替えます。

デバイスの接続

選択すると、GoPro Quik アプリまたは The Remote (ザ リモート) に接続します。詳細については、「[GoPro Quik アプリへの接続](#) (91 ページ)」をご参照ください。

カメラ情報

カメラの名前とパスワードを表示します。

Wi-Fi 帯域

接続速度として 5GHz または 2.4GHz を選択します。スマートフォンおよび地域が対応している場合のみ、5GHz を設定します。詳細については、「[接続速度の設定](#) (92 ページ)」をご参照ください。

接続のリセット

デバイスへのすべての接続をクリアし、カメラのパスワードをリセットします。リセットしたら、各デバイスを再接続する必要があります。

「接続」および「ユーザー設定」の設定



ユーザー設定

リアスクリーンを下にスワイプしてダッシュボードにアクセスし、左にスワイプします。「ユーザー設定」をタップして GoPro をセットアップします。



一般

「一般」設定には、次の設定があります。

電子音のボリューム

高、中 (初期設定)、低、またはミュートを選択します。ここで設定したボリュームは、ダッシュボードでオンまたはオフに切り替えることができます。

QuikCapture

QuikCapture は、初期設定ではオンになっています。ここでオフにできます。ダッシュボードを使用して、オンまたはオフに切り替えることもできます。

初期設定プリセット

モードボタン  を使って GoPro の電源を入れた場合に、GoPro 撮影のプリセットを設定します。この設定は、QuikCapture には影響しません。

電源の自動オフ

5 分、15 分 (初期設定)、30 分、または「なし」を選択します。

「接続」および「ユーザー設定」の設定

LED

点滅させるステータスライトを設定します。「すべてオン」(初期設定)、「すべてオフ」、「フロントのみオフ」から選択できます。

アンチフリッカー

テレビで録画と再生をする際の地域のフレームレートを選択します。北米や日本の場合は、60Hz (NTSC) に設定します。NTSC 方式以外の場合は 50Hz (PAL) をお試しください。地域に適した形式を選択すると、屋内で録画されたビデオを再生したときに TV/HDTV でのちらつきを防ぐことができます。

ビデオ圧縮

ビデオのファイル形式を設定します。HEVC (ファイルサイズを削減) または H.264 + HEVC (H.264 により従来のデバイスとの互換性を最大化しながら、HEVC による高度な設定を使用) を選択します。

時刻と日付

時刻と日付を手動で調整するために使用します。カメラを GoPro アプリに接続すると、どちらも自動的に更新されます。

日付形式

セットアップ時に選択した言語に基づいて自動的に設定されます。手動で変更することもできます。

「接続」および「ユーザー設定」の設定



音声コントロール

音声コントロール設定を選択したり、使用できる全てのコマンドを表示したりします。

音声コントロール

音声コントロールをオンまたはオフにします。ダッシュボードを使用して、オンまたはオフに切り替えることもできます。

言語

音声コントロールの言語を選択します。

コマンド

音声コマンドの完全なリストが表示されます。

詳細については、「[音声で GoPro を操作](#) (83 ページ)」をご参照ください。

「接続」および「ユーザー設定」の設定



ディスプレイ

方向を調整したり、スクリーンセーバーを設定したり、明るさを調整したりします。

方向

カメラを回転させたときに、画面の天地が正しい向きに保たれます。

詳細については、「[画面の向きの設定](#) (49 ページ)」をご参照ください。

スクリーンセーバー (リア)

リアスクリーンセーバーを 1 分、2 分 (初期設定)、3 分、5 分のいずれかに設定します。「なし」を選択すると、画面がオンのままになります。

注意: カメラのボタンと音声コントロールは、画面がオフになっていても作動します。

スクリーンセーバー (フロント)

フロントのスクリーンセーバーを 1 分、2 分 (初期設定)、3 分、5 分のいずれかに設定します。「なし」を選択するか、「背面画面に一致」(初期設定)を選択してリアスクリーンセーバーと同期することも可能です。

明るさ

スライダーを使用して、画面の明るさを調整します。

「接続」および「ユーザー設定」の設定



地域

GPS をオンにし、言語を選択して、カメラのすべての規制情報を表示します。

GPS

GPS をオンにして、ユーザーの動く速度や距離などを追跡します。GoPro Quik アプリでデータオーバーレイを追加し、ビデオにユーザーの動く速度、距離、高さを表示します。詳細およびモバイルデバイスとの互換性については、gopro.com/telemetry をご参照ください。

言語

カメラに表示する言語を選択します。



モジュラー

HERO10 Black モジュラーで以下の設定を使用します。

Max (マックス) レンズモジュラー

カメラのダッシュボードに Max レンズモジュラーのコントロールを追加します。

メディアモジュラー

メディアモジュラーに接続する外部マイクの種類を選択します。

「接続」および「ユーザー設定」の設定



バージョン情報

GoPro を更新し、カメラの名前、シリアル番号、バッテリーの状態、およびソフトウェアバージョンを確認します。

GoPro の更新

カメラのソフトウェアを更新して、最新の機能とパフォーマンスのアップデートを適用します。

カメラ情報

カメラの名前、シリアル番号、およびカメラが使用しているソフトウェアバージョンを確認します。

バッテリー情報

ここからバッテリーの状態を確認します。必ず GoPro リチャージャブルバッテリー (HERO10 Black) を使用してください。古い GoPro バッテリーや GoPro 以外のバッテリーを使用すると、カメラのパフォーマンスが大幅に制限される可能性があります。



規制

GoPro の認定書を表示します。

「接続」および「ユーザー設定」の設定



リセット

SD カードをフォーマット、またはカメラの設定をリセットします。

SD カードをフォーマット

SD カードを再フォーマットします。フォーマットするとメディアがすべて消去されます。再フォーマット前に必ず保存してください。

プリセットのリセット

あらかじめ組み込まれているプリセットをオリジナルの設定にリセットし、すべてのカスタムプリセットを削除します。

カメラヒントのリセット

すべてのカメラのヒントを最初から表示します。

出荷時リセット

カメラの設定をすべて復元し、すべての接続をクリアします。

重要なメッセージ

問題が発生することはまれですが、問題が発生した場合は、GoPro からユーザーに通知されます。表示されるメッセージの一部を次に示します。



カメラの温度が高すぎます

カメラの温度が高くなり、冷却が必要になると、タッチスクリーンに温度警告アイコンが表示されます。カメラはオーバーヒートのリスクがある状況を認識するように設計されており、必要に応じてシャットダウンされます。この場合は、カメラをそのまま放置し、冷却してから使用してください。

注意：HERO10 Black の動作周囲温度範囲は -10°C ~ 35°C です。高温になると、カメラの電力消費量が増えて、バッテリーの消耗が速くなります。

GoPro テク：特に気温が高い環境では、高解像度や高フレームレートでビデオを撮影すると、カメラはより早く高温になります。低解像度および低フレームレートに切り替えて、GoPro のオーバーヒートのリスクを軽減しましょう。

SD カードエラー

GoPro は SD カードのさまざまな問題を検出できます。問題の原因としては、静電気放電が考えられますが、放電が原因とは限りません。このような場合は、カメラを再起動してください。破損したファイルは自動的に修復され、完全に機能できるようにカメラは復元されます。

重要なメッセージ



ファイルの復旧

GoPro は、破損したファイルを自動的に修復しようとします。録画中にカメラの電源が切れた場合、またはファイルの保存中に問題が発生した場合に、ファイルが破損することがあります。修復中は、ファイル復旧アイコンがタッチスクリーンに表示されます。処理が終了してファイルが修復されると、カメラから通知されます。

SD カードがいっぱいです

SD カードがいっぱいになると、カメラから通知されます。録画を継続するには、一部のファイルを移動または削除する必要があります。

SD カードの規格

カメラを最適に機能させるには、V30、UHS-3 以上の SD カードが必要です。カードの評価が V30/UHS-3 以下である場合、またはカードが時間の経過とともに劣化し、規格に準拠した機能を発揮できない場合、カメラの反応によってそれがわかります。

バッテリー残量低、電源をオフにしています

バッテリーの残量が 10% を下回ると、タッチスクリーンにバッテリー残量の低下を示すメッセージが表示されます。ビデオの録画中にバッテリーが切れた場合は、録画が停止しビデオが保存されてから、電源がオフになります。

カメラのリセット

GOPRO の再起動

カメラが応答していない場合は、モードボタン  を 10 秒間押し続けます。これでカメラが再起動します。設定は変更されません。

プリセットを初期設定に戻す

カメラの元のプリセット設定をすべて初期設定にリセットします。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして「ユーザー設定」>「リセット」>「プリセットのリセット」の順にタップします。

注意：カメラの元のプリセット設定を初期設定に戻すと、カスタムプリセットが消去されます。

接続のリセット

デバイスの接続をクリアし、カメラのパスワードをリセットします。接続をリセットすると、お使いのすべてのデバイスで再接続が必要になります。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして「接続」>「接続のリセット」の順にタップします。

カメラのヒントのリセット

カメラのヒントをもう一度表示したい場合は、次の方法で最初からすべて表示することができます。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして、「ユーザー設定」>「リセット」>「カメラヒントのリセット」の順にタップします。

カメラのリセット

工場出荷時の設定に戻す

カメラの元の設定をすべて復元し、すべてのデバイス接続をクリアして、GoPro サブスクリプションからカメラの登録を解除します。これは、人にカメラを譲る場合や、オリジナルの状態に完全に戻したい場合に便利です。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして「ユーザー設定」>「リセット」>「出荷時リセット」の順にタップします。

注意：出荷時の設定を復元しても、SD カードからコンテンツが削除されたり、カメラのソフトウェアに影響を与えたりすることはありません。

GoPro のマウント方法



マウント用取付具

1. マウント用バックル
2. サムスクリュー
3. 粘着性ベースマウント（曲面）

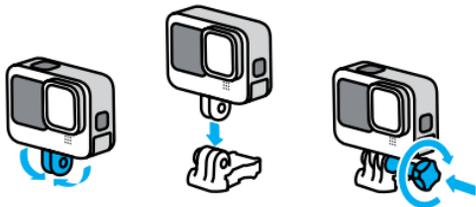
GoPro のマウント方法

マウントフィンガーの使用

使用するマウントに応じて、マウント用バックルを使用するか、GoPro を直接マウント自体に取り付けます。

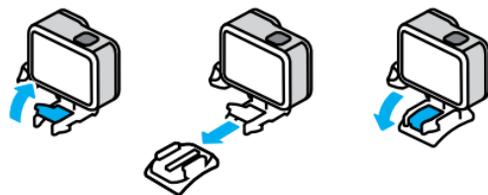
粘着性ベースマウントの使用に関するヒントについては、「[粘着性ベースマウントの使用](#) (114 ページ)」をご参照ください。

1. 折り畳み式フィンガーをマウント位置に押し下げます。
2. カメラのフォールディングフィンガーを、バックルのマウントフィンガーと組み合わせます。
3. サムスクリューを使用して、カメラをマウント用バックルに固定します。



GoPro のマウント方法

4. マウント用バックルをマウントに取り付けます。
 - a. マウント用バックルプラグをはね上げます。
 - b. カチッと音がして固定されるまでバックルをマウント側にスライドさせます。
 - c. プラグを押し込んでバックルと同じ高さになるようにします。



GoPro のマウント方法

粘着性ベースマウントの使用

ヘルメット、車両、およびギアに粘着性ベースマウントを取り付けるときには、次のガイドラインに従ってください。

- 使用する 24 時間以上前にマウントを取り付けます。
- マウントは必ず滑らかな面に取り付けてください。凹凸やざらざらした表面には、きちんと貼り付きません。
- マウントを押して、しっかりと取り付けます。接着剤が表面に完全に接触していることを確認します。
- 必ず清潔で乾燥した面で使用してください。ワックスや脂分、汚れ、ほこりなどがあると、接着が弱まり、カメラを紛失する可能性があります。
- 湿度が低い、室温の環境でマウントを取り付けます。低温または湿度の高い環境や、低温または湿気のある表面には、適切に貼り付きません。
- 機器（狩猟用の装備）などにカメラを取り付けることが許可されているかどうか、国や自治体の法律および条例を確認してください。家電やカメラの使用を規定する法律に常に準拠してください。



警告：思いがけない負傷を避けるために、カメラをヘルメットにマウントする際には流れ止めコードを使用しないでください。スキーやスノーボードに直接カメラを取り付けしないでください。

マウントの詳細については、gopro.com をご参照ください。

GoPro のマウント方法

警告：GoPro ヘルメットマウントまたはストラップを使用する場合は、常に該当する安全規格を満たしているヘルメットを使用してください。



実施するスポーツまたはアクティビティに適したヘルメットを選択し、ヘルメットが使用者に適したサイズでフィットしていることを必ず確認してください。ヘルメットが正常な状態であることを確認し、製造元の安全な使用に関する指示に必ず従ってください。

大きな衝撃を受けたヘルメットは交換してください。すべての事故で負傷から保護できるヘルメットはありません。安全を維持してください。

水中および水辺での GOPRO の使用

GoPro は、ドアがロックされた状態であれば 10m の防水性能を発揮します。飛び込む前に、別途ハウジングを取り付ける必要はありません。

タッチスクリーンは、濡れていても使用できるよう設計されていますが、コマンドの認識に問題が生じた場合は水を拭き取る必要があります。タッチスクリーンは水中では動作しませんが、水中でもカメラのボタンを使用してメニューを操作することができます。詳細については、「[ボタンでナビゲートする \(26 ページ\)](#)」をご参照ください。

GoPro テク：流れ止めコードと Floaty (フLOATY) (別売) を使用して、カメラがマウントから外れても浮いているようにしてください。

水深 60m の絶景を撮影する際は、別売の保護ハウジング (HERO10 Black) を使用してください。

カメラの流れ止めコード、Floaty、および保護ハウジングの詳細については、gopro.com をご参照ください。

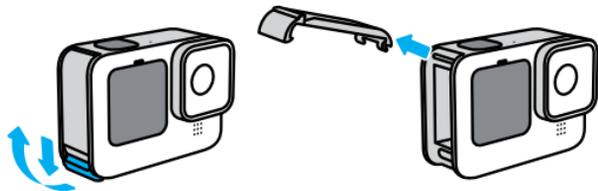
ドアの取り外し

場合によっては、カメラのドアを取り外す必要があります。

注:ドアは乾燥した、ほこりのない環境でのみ取り外します。ドアが開いていたり外されていたりする状態のカメラに防水性能はありません。

ドアの取り外し

1. ラッチのロックを解除し、ドアを開けます。
2. ドアを水平にした状態で、カチッと音がするまで外側にゆっくりと引きまします。

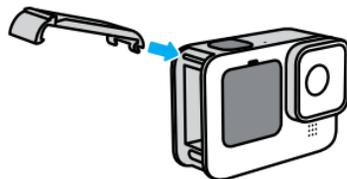


警告: ドアを外した状態で GoPro を使用しないでください。
使用中にバッテリーが外れてしまう可能性があります。

ドアの取り外し

ドアの取り付け

1. ドアを小さな銀色のバーに合わせます。
2. 所定の位置にはめ込まれ、しっかりと固定されるまで、ドアを小さな銀色のバーにしっかりと押し込みます。



警告: このカメラのドアは着脱式です。ドアを閉じた後、ドアがしっかりとロックされ、密閉されていることを確認してください。

メンテナンス

カメラの性能を最大限に引き出すには、次のヒントを参考にしてください。

- GoPro はハウジングなしで、水深 10m までの防水性能を備えています。水や土、砂の中で使用する場合は、ドアを必ず閉じてください。
- ドアを閉じる前に、シール部分にチリやゴミがついていないことを確認します。必要に応じて、布を使用してシールを洗浄します。
- ドアを開ける前に、GoPro が清潔で乾燥していることを確認してください。必要であれば、カメラに真水をかけてすぎ、布で完全に水分を拭き取ります。
- ドアの周囲に砂や泥などがこびりついている場合は、カメラをぬるま湯に 15 分ほど浸して、その後十分にすすいで砂や泥を完全に取り除いてください。ドアを開ける前に、カメラが濡れていないことを確認してください。
- 最高のオーディオ性能を引き出すためには、カメラを振るか、マイクの挿入口に息を吹きかけて、挿入口に入った水や泥を取り除きます。マイクの挿入口から圧縮した空気を吹き込まないでください。内部の防水メンブレンを破損させる可能性があります。
- 塩水が付着した場合は、その都度必ずカメラを水ですすぎ、柔らかい布で拭いてください。
- レンズカバーは、非常に丈夫な強化ガラスで作られています。それでも傷やひびができる場合があります。柔らかく、糸くずの出ない布で拭いてください。
- ゴミがレンズとトリムリングの間に詰まっている場合は、水や空気を取り除きます。レンズ周りに異物が入らないようにしてください。

バッテリーの情報

バッテリー駆動時間を最大限に延ばす

次のような方法で、バッテリー駆動時間を最大限に延ばすことができます。

- 低いフレームレートと解像度でビデオを録画する。
- スクリーンセーバーを使用したりスクリーンの明るさを下げる。
- フロントスクリーンをオフにする。
- GPS をオフにする。
- ワイヤレス接続をオフにする。
- 次の設定を使用する。
 - [QuikCapture](#) (100 ページ)
 - [電源の自動オフ](#) (100 ページ)

電源接続時の撮影

カメラに同梱されている USB-C ケーブルを使用して、カメラを USB 式の充電アダプター、GoPro Supercharger、またはその他の外部電源に接続した状態で、ビデオや写真を撮影できます。これは、長いビデオやタイムラプスイベントを撮影するのに最適です。

録画中は、SD カードスロットの周辺に触れないように注意してください。SD カードに触れると、録画が中断または停止される可能性があります。この問題が発生した場合は、カメラでメッセージが表示されます。このような不具合が発生した場合でも、コンテンツの破損または消失はありません。ただし、続行するには、カメラを再起動しなければならない場合があります。

カメラを充電している場合でも、録画中にはバッテリーは充電されません。録画を停止すると、充電が開始されます。カメラをコンピューターに接続している場合は、録画できません。

バッテリーの情報

注意：充電中はドアが開いているため、カメラは防水ではなくなります。

GoPro テク：USB パススルードア（別売）を使用すると、全天候型というカメラの特性が維持され、外部電源に接続する場合でもバッテリーを所定の位置に保持できます。



警告：GoPro 製以外の AC チャージャーまたは電源ケーブルを使用すると、カメラのバッテリーが破損し、火災や液漏れが発生する恐れがあります。GoPro Supercharger（別売）以外では、「出力 5V 1A」と記された充電器のみを使用してください。充電器の電圧と電流が不明の場合は、付属の USB-C ケーブルを使用して、カメラをコンピューターに接続して充電してください。

バッテリーの保管および取り扱い

GoPro には、バッテリーなどの精密部品が多く含まれています。本機を極端な低温や高温にさらさないでください。極端な温度の環境では、バッテリーの寿命が一時的に低下したり、カメラが一時的に正常に作動しなくなったりすることがあります。温度や湿度が急激に変化する環境では使用しないでください。製品の内部/外部に結露が発生する可能性があります。

カメラを乾燥させる際に、電子レンジやヘアドライヤーなどの外部熱源を使用しないでください。カメラ内部での水や液体への接触によってカメラやバッテリーが破損した場合は、保証の対象となりませんのでご注意ください。

貨幣や鍵、ネックレスなどの金属と一緒にバッテリーを保管しないでください。バッテリーの接触子が金属に触れると、火災が発生する可能性があります。

バッテリーの情報

許可されていない改造をカメラに加えないでください。許可されていない改造を行うと、安全や法令に関するコンプライアンスに抵触したり、あるいはシステムのパフォーマンスを損なう恐れがあるため、保証の対象外となります。

注意：低温環境下では、バッテリー容量が低下します。古いバッテリーになるほどこの影響は大きくなります。定期的に低温下で撮影を行う場合は、最適なパフォーマンスを維持するため、1年に1回バッテリーを交換してください。

GoPro テク：バッテリー寿命を最大限に延ばすために、収納する前にカメラをフル充電してください。



警告：カメラまたはバッテリーの投下、分解、開放、破砕、折り曲げ、変形、穿孔、裁断、電子レンジによる加熱、焼却、塗装などを行わないでください。USB-C ポートなど、カメラの開口部に異物を入れないでください。亀裂ができたり、穴が開いていたり、水没したりしたことが原因で破損したカメラは使用しないでください。バッテリーを分解したり、穴を開けたりすると、破裂や火災の原因になることがあります。

バッテリーの情報

バッテリーの廃棄

ほとんどのリチャージャブルリチウムイオンバッテリーは、無害廃棄物に分類され、自治体の通常の廃棄物として処理することができます。多くの地域では、バッテリーをリサイクルするよう求められます。お住まいの地域の条例を調べ、通常のごみと一緒に充電式バッテリーが廃棄できるかどうかご確認ください。リチウムイオンバッテリーを安全に廃棄するために、接触子が他の金属に触れないよう、梱包、マスキング、絶縁用テープなどで適切に処理し、輸送中に火災が発生しないようにしてください。

ただし、リチウムイオンバッテリーにはリサイクル可能な材料が含まれており、リチャージャブルバッテリーリサイクリングコーポレーション (RBRC) のバッテリーリサイクリングプログラムでもリサイクル受け入れ対象となっています。北米のお客様は Call2Recycle (call2recycle.org にアクセスするか、1-800-BATTERY に電話) に問い合わせ、最寄りのリサイクル場を確認することをお勧めします。

バッテリーは火に投げると爆発する恐れがあるため、火のあるところには絶対に捨てないでください。



警告: GoPro 交換用バッテリー、電源ケーブル、バッテリー充電用アクセサリ、デバイスは、カメラでのみ使用してください。

古い GoPro バッテリーや GoPro 以外のバッテリーを使用すると、カメラのパフォーマンスが大幅に制限される可能性があります。さらに保証の失効、火災、感電、その他の安全上のリスクが生じる可能性もあります。

トラブルシューティング

GOPRO の電源が入らない

GoPro が充電されているか確認してください。「SD カードとバッテリーのセットアップ (10 ページ)」をご参照ください。バッテリーを充電しても解決しない場合は、カメラを再起動してみてください。「GoPro の再起動 (109 ページ)」をご参照ください。

ボタンを押しても GOPRO が応答しない

「GoPro の再起動 (109 ページ)」をご参照ください。

コンピューターで再生した映像が途切れる

コンピューターで再生時の映像が途切れるのは、通常の場合ファイルの問題ではありません。映像がスキップされる場合は、原因として次のいずれかが考えられます。

- コンピューターが HEVC ファイルをサポートしていない。
gopro.com/apps で、Mac 用または Windows 用 GoPro プレーヤー (無料) の最新バージョンをダウンロードしてください。
- お使いのコンピューターが、再生に使用しているソフトウェアの最小要件を満たしていない。

カメラのユーザー名またはパスワードを忘れた場合

リアスクリーンで下にスワイプしてダッシュボードにアクセスし、左にスワイプして「ユーザー設定」>「接続」>「カメラ情報」をタップします。

ソフトウェアのバージョンが不明な場合

リアスクリーンで下にスワイプしてダッシュボードにアクセスし、左にスワイプして「ユーザー設定」>「バージョン情報」>「カメラ情報」をタップします。

トラブルシューティング

カメラのシリアル番号が見つからない

シリアル番号は、カメラのバッテリー収納部の内側に刻印されています。また、リアスクリーンで下にスワイプしてダッシュボードにアクセスし、さらに左にスワイプして「ユーザー設定」>「バージョン情報」>「カメラ情報」の順にタップしても確認できます。

よくある質問の他の回答については、gopro.com/help をご参照ください。

仕様：ビデオ

ビデオの解像度 (RES)

ビデオの解像度は、ビデオの各フレーム内の水平ラインの数を指します。1080p ビデオは1,080本の水平線で構成されています。5.3K ビデオは、5,312本の水平線で構成されています。ラインが多いほど解像度が高くなるので、5.3K は1080p 以上の鮮明な画像を提供することができます。

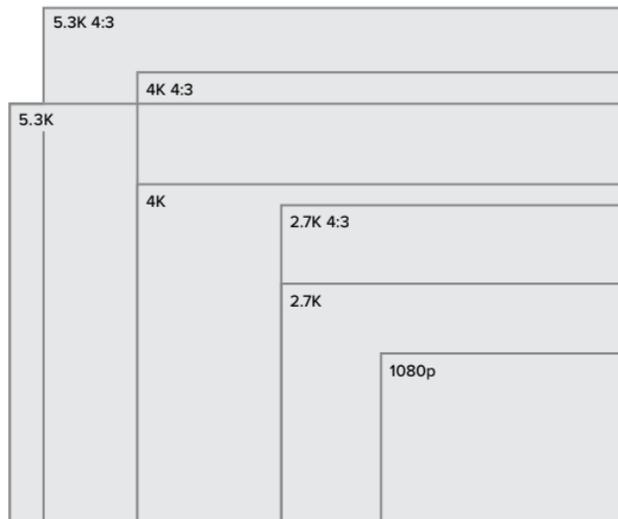
ビデオ解像度	説明
5.3K	最高の解像度のビデオ。広角アスペクト比 16:9 の驚異的なウルトラ HD ビデオで撮影します。15.8MP の静止画をビデオから取得することができます。
5K 4:3	アスペクト比が 4:3 を上回る画面を撮影する超高解像度ビデオです。POV コンテンツや、ビデオから 19.6MP の静止画を取り込むのに最適です。
4K 4:3	縦長のアスペクト比 4:3 のウルトラ HD ビデオは、16:9 のショットよりも長いシーンを撮影することができます。12MP の静止画をビデオから取り込むことができます。
4K	アスペクト比 16:9 のウルトラ HD ビデオ。三脚や固定位置での撮影に最適です。8MP の静止画をビデオから取得することができます。
2.7K 4:3	ボディやギアに搭載された主観的な高解像度のショットを、滑らかなスローモーションで再生するのに最適です。

仕様：ビデオ

ビデオ解像度	説明
2.7K	16:9 の高解像度のビデオ。プロ仕様の制作用として迫力ある映画品質の映像を実現します。
1080p	あらゆるショットやソーシャルメディアサイトでの共有に最適な標準的な HDTV 解像度。240fps や 120fps の高フレームレートオプションにより、編集時にスーパースローモーションを利用できます。

仕様：ビデオ

この表では、各解像度のフレームサイズを比較しています。



GoPro テク：特に高解像度、高フレームレートを使用している場合、選択された設定をお手持ちのスマートフォン、コンピューター、テレビがサポートしているかどうかご確認ください。

仕様：ビデオ

フレーム / 秒 (FPS)

フレーム / 秒とは、ビデオで1秒あたりに撮影されるフレーム数を表します。高いFPS値(60、120、240)は、速い動きを撮影するのに適しています。また、高FPSの映像はスローモーション再生に使用することもできます。

解像度 +FPS

ビデオの解像度は高いほど、より細部までくっきりとした映像を撮影できますが、利用できるfps値は一般的に低くなります。

ビデオ解像度を低くすると、映像は鮮明ではなくなりますが、高いfps値で撮影できます。

解像度 | FPS 画面で解像度を選択すると、選択した解像度で使用できるすべてのフレームレートが白で表示されます。使用できないフレームレートはグレーで表示されます。

仕様：ビデオ

アスペクト比

アスペクト比は、画像の幅と高さを表します。GoProは、2つのアスペクト比でビデオと写真を撮影します。

4:3

縦長の4:3形式では、16:9のワイドスクリーン形式よりも多くを画面に収めることができます。セルフイーやPOV映像を撮影するのに適しています。解像度4:3が、解像度 | FPS 画面の最上行に表示されます。

16:9

HDTVや編集プログラム用の標準的な形式です。ワイドスクリーン形式は、シネマティックで印象的なコンテンツを撮影するのに最適です。解像度16:9が、解像度 | FPS 画面の解像度4:3の下に表示されます。

注意：HDTVで4:3の映像を再生すると、画面の両側に黒いバーが表示されます。

仕様：ビデオ

デジタルレンズ (ビデオ)

デジタルレンズによって、カメラが捉えるシーンの広さが異なります。レンズの種類は、ショットのズームレベルや魚眼効果にも影響します。

デジタルレンズ	説明
SuperView (16mm)	横幅と縦幅が最も広い視野角で、16:9 ビデオとして表示されます。
広角 (16 ~ 34mm)	フレーム内にできるだけ広い範囲を収める広い視野角。
リニア (19 ~ 39mm)	SuperView や広角での魚眼効果のない広い視野角。

仕様：ビデオ

デジタルレンズ	説明
リニア + 水平維持 (19 ~ 39mm)	SuperView や広角での魚眼効果のない広い視野角で撮影します。録画中にカメラを傾けても、滑らかで水平な映像に保ちます。 注意：録画中にカメラが 23°C ~ 45°C (選択した設定によって異なります) を超えて回転すると、コンテンツが傾きます。 GoPro テク ：Max レンズモジュラー (別売) を使用して、水平ロック機能がある GoPro にアップグレードしましょう。この機能により、カメラを傾けてマウントした場合でも、録画中にカメラが 360 度回転した場合でも、水平で安定した映像が撮影できます。
狭角 (27mm)	SuperView や広角での魚眼効果のない狭い視野角。

注意：選択した解像度およびフレームレートと互換性があるレンズのみが、使用可能です。

GoPro テク：Max レンズモジュラー (別売) を使用すると、HERO カメラでは最大とされる超広角 155° デジタルレンズで、視界を広げることができます。

仕様：ビデオ

HERO10 BLACK のビデオ設定

カメラのビデオ解像度と、それぞれで使用可能な fps、レンズ、アスペクト比の概要を示します。

ビデオの解像度 (RES)	FPS (60Hz/50Hz) *	デジタルレンズ	画面解像度	アスペクト比
5.3K	60/50 30/25 24/24	広角、リニア、 リニア+水平維持、 狭角	5312x2988	16:9
5K 4:3	30/25 24/24	広角、リニア、 リニア+水平維持、 狭角	5120x3840	4:3
4K	120/100	広角、リニア、 リニア+水平維持、 狭角	3840x2160	16:9
4K	60/50 30/25 24/24	SuperView、広角、 リニア、リニア+ 水平維持、狭角	3840x2160	16:9
4K 4:3	60/50 30/25 24/24	広角、リニア、 リニア+水平維持、 狭角	4000x3000	4:3

*60Hz (NTSC) および 50Hz (PAL) はビデオのフォーマットを意味し、お住まいの地域によって異なります。詳細については、「アンチフリッカー (101 ページ)」をご参照ください。

使用する設定についてのヒントは、「推奨設定 (31 ページ)」をご参照ください。

仕様：ビデオ

ビデオの解像度 (RES)	FPS (60Hz/50Hz) *	デジタルレンズ	画面解像度	アスペクト比
2.7K	240/200	広角、リニア、 リニア+水平維持、 狭角	2704x1520	16:9
2.7K	120/100 60/50	SuperView、広角、 リニア、リニア+ 水平維持、 狭角	2704x1520	16:9
2.7K 4:3	120/100 60/50	広角、リニア、 リニア+水平維持、 狭角	2704x2028	4:3
1080p	240/200	広角、リニア、 リニア+水平維持、 狭角	1920x1080	16:9
1080p	120/100 60/50 30/25 24/24	SuperView、広角、 リニア、リニア+ 水平維持、狭角	1920x1080	16:9

*60Hz (NTSC) および 50Hz (PAL) はビデオのフォーマットを意味し、お住まいの地域によって異なります。詳細については、「アンチフリッカー (101 ページ)」をご参照ください。

使用する設定についてのヒントは、「推奨設定 (31 ページ)」をご参照ください。

仕様：ビデオ



高解像度／高フレームレート

屋外の気温が高い環境で高解像度または高 fps のビデオを撮影すると、カメラが高温になり消費電力が増える原因となります。

空気の流れがないところで GoPro Quik アプリに接続すると、カメラがさらに高温になり、より多くの電力を使用するため、録画時間が短縮されてしまいます。

加熱による問題が発生した場合は、録画するビデオを短くしてみてください。また、GoPro Quik アプリのように、多くの電力を消費する機能の利用を控えてください。The Remote (別売) は、低消費電力で GoPro を制御できます。

シャットダウンして冷却する必要がある場合、カメラから通知されます。詳細については、「[重要なメッセージ \(107 ページ\)](#)」をご参照ください。

仕様：ビデオ

HYPERSMOOTH ビデオスタビライズ機能

HyperSmooth は、カメラの揺れを修正することで、コンテンツが非常に滑らかになります。録画中にビデオをクロップして映像をバッファァーします。サイクリング、スケート、スキー、手持ち撮影などに最適です。GoPro には、次の 4 つの HyperSmooth 設定があります。

設定	説明
ブースト	画像をしっかりとクロップした、最大限の手ぶれ補正。
高	最大限のビデオスタビライズ。
標準	バッテリー寿命を延ばすためにビデオスタビライズをやや下げました。
オフ	手ぶれ補正またはクロップを行わずに録画します。

録画開始前にタッチズームを使用してショットをクロップすることで、より一層映像を滑らかにすることができます。これにより、カメラはビデオのぶれを補正する際に、より大きなバッファァーを使用できるようにもなります。また、「リニア+水平維持」レンズを使用すると安定性も向上します。

GoPro テク：Max レンズモジュラー (別売) を使用して、最大 2.7K の優れたビデオスタビライズ機能により、GoPro の能力を最大限まで引き出しましょう。

ループの間隔

GoPro を 5 分 (初期設定)、20 分、60 分、120 分のループ録画をするよう設定できます。また、「最大」と設定することも可能です。この場合、カメラは SD カードがいっぱいになるまで録画し、その後ループバックしてビデオの先頭から重ね撮りします。

仕様：写真

SUPERPHOTO

SuperPhoto はシーンを自動的に分析し、ショットに最適な画像処理をインテリジェントに適用します。

光量やショットの中の動きなどの条件に応じて、SuperPhoto が次の 3 つのオプションからいずれかを選択します。

ハイダイナミックレンジ (HDR)

改良された HDR では、複数の写真を 1 つのショットに結合し、明るい光と影が混在したシーンを細部まで再現します。

マルチフレームノイズ低減

複数のショットをシングルフォトに自動的に結合して、デジタルの歪み (ノイズ) を低減します。

標準の写真

ローカルトーンマッピング機能を搭載しています。この機能では、必要な場所でのみ細部とコントラストを強調することで写真を補正します。

SuperPhoto は、1 枚ずつ写真を撮影する場合にのみ機能します。画像処理の適用のために時間が必要となり、各ショットを処理して保存するのに少し長く時間がかかる場合があります。

注意 : SuperPhoto は、RAW 写真や Protune、露出コントロール設定下では機能しません。

仕様：写真

SuperPhoto をオフにする

SuperPhoto は初期設定ではオンになっています。オフにする方法は以下の通りです。

1. 写真設定画面で、「出力」をタップします。
2. 「標準」、「HDR」、または「RAW」に切り替えます。

HDR

ハイダイナミックレンジ (HDR) は、SuperPhoto が写真の質を向上させるために用いる画像処理技術の 1 つです。複数のショットをシングルフォトに結合して、かつてないほどの素晴らしいショットが実現します。写真を撮影するときに必ず HDR を使用するには、この設定を選択します。

1. 写真設定で、「出力」をタップします。
2. 「HDR」を選択します。

HDR オンは、1 枚ずつ写真を撮影する場合にのみ使用できます。最良の結果を得るには、高コントラストのショットで動きを最小限にして使用します。

注意 : HDR は、RAW や露出コントロールでは機能しません。

仕様：写真

シャッター速度（ナイトおよびナイトラプスフォト）
シャッター速度により、ナイトモードやナイトラプスフォトモードでカメラのシャッターが開いている時間が決まります。オプションと使用時のヒント

スピード	例
自動 (最大 30 秒)	日の出、日没、夜明け、夕暮れ、薄暮、夜間。
2 秒、5 秒、10 秒、15 秒	夜明け、夕暮れ、薄暮、ナイトグラフィック、観覧車、花火、ライトペインティング。
20 秒	夜間の空 (光源あり)。
30 秒	夜間の星、天の川 (完全な暗闇)。

GoPro テク：ナイトフォトとナイトラプスフォトの使用時に手ブレを防ぐには、カメラを三脚に取り付けたり、安定した面に置いて、ぶれたり揺れたりしないようにします。

バーストレート

次の高速設定のいずれかを使用して、素早いアクションシーンを撮影します。

- 自動 (照明条件に基づいて 1 秒間に最大 25 枚)
- 3 秒、6 秒、10 秒に 30 枚
- 1 秒間に 25 枚
- 1 秒、3 秒に 10 枚
- 1 秒間に 5 枚
- 1 秒間に 3 枚

仕様：写真

デジタルレンズ (写真)
デジタルレンズによって、カメラが捉えるシーンの広さが異なります。レンズは、ショットのズームレベルや魚眼効果にも影響します。写真には、次の 3 つのレンズオプションがあります。

デジタルレンズ	説明
広角 (16 ~ 34mm)	フレーム内にできるだけ広い範囲を収める広い視野角。
リニア (19 ~ 39mm)	広角での魚眼効果を取り除いた広い視野角。
狭角 (27mm)	広角での魚眼効果を取り除いた狭い視野角

GoPro テク：Max レンズモジュラー (別売) を使用すると、HERO カメラでは最大とされる超広角 155° デジタルレンズで、視界を広げることができます。

仕様：写真

RAW 形式

この設定がオンになっている場合、写真はすべて .jpg 画像（カメラで表示する場合や GoPro Quik アプリで共有する場合）および .gpr ファイルで保存されます。

.gpr ファイルは、Adobe DNG 形式に基づいています。これらのファイルは、Adobe Camera Raw (ACR)、バージョン 9.7 以降で使用できます。また、Adobe Photoshop Lightroom CC (2015.7 リリース以降) および Adobe Photoshop Lightroom 6 (バージョン 6.7 以降) も使用できます。

写真モードでは、次の条件および例外により、RAW 形式を写真、連写、ナイト、タイムラプス写真およびナイトラプス写真で使用できます。

- SuperPhoto がオフになっている必要があります。
- デジタルレンズを「広角」に設定する必要があります。
- ズームをオフにする必要があります。
- RAW 形式は連続写真の撮影時には使用できません。
- タイムラプスフォトでは、間隔は 5 秒以上にする必要があります。
- ナイトラプスフォトでは、シャッター設定は 5 秒以上にする必要があります。

GoPro テク： .gpr 形式の写真は、.jpg ファイルと同じファイル名で、同じ場所に保存されます。ファイルにアクセスするには、カードリーダーに SD カードを挿入し、コンピューターのファイルエクスプローラーでファイルを見つけます。

仕様：タイムラプス

タイムワープビデオの速度

タイムワープビデオの速度を最大 30 倍速にすれば、長時間のアクティビティを共有することができます。初期設定は、速度が自動的に設定される「自動」になっています。

自分で速度を設定することも可能です。この表を使って、ビデオの長さを予測してください。たとえば、2 倍速で 4 分間録画すると、約 2 分の TimeWarp ビデオが作成されます。

スピード	録画時間	ビデオの長さ
2 倍	1 分	30 秒
5x	1 分	10 秒
10x	5 分	30 秒
15x	5 分	20 秒
30x	5 分	10 秒

注意：録画時間はおよその時間です。ビデオの長さはショット内に含まれる動きによって異なる場合があります。

スピード	例
2x ~ 5x	景色のよい道路での運転。
10x	ハイキングや探検。
15x ~ 30x	ランニングやマウンテンバイク。

GoPro テク： 最高の結果を得るため、がたがたと揺れる可能性のある映像を撮影する場合は、速度を「自動」設定のままにしてください。

仕様：タイムラプス

スピードランプ (TIMEWARP)

TimeWarp 録画中にリアタッチスクリーンをタップして、ビデオの速度を徐々に下げます。もう一度タップすると、元の速さに戻ります。録画前に撮影画面の  をタップするか、TimeWarp 設定メニューに移動して、速度を選択します。次の 2 つのオプションがあります。

スピード	フレーム / 秒	サウンド
リアルスピード (1 倍速)	30fps	オン
ハーフスピード (0.5 倍速スローモーション)	60fps	オフ

GoPro テク: モードボタン  を使用して、スピードランプを有効にすることもできます。設定メニューの「ショートカット」まで下にスクロールして設定します。

ビデオの解像度 (TIMEWARP、タイムラプスビデオ)

HERO10 Black は、タイムワープビデオとタイムラプスビデオを 4 種類の解像度で撮影します。

解像度	アスペクト比
4K	16:9
4K	4:3
1080p	16:9

詳細については、以下をご参照ください。

- [ビデオの解像度](#) (142 ページ)
- [アスペクト比](#) (129 ページ)

仕様：タイムラプス

タイムラプスの間隔

タイムラプスビデオまたはタイムラプスフォトモードの状態では、カメラが写真撮影する頻度を決定します。

使用可能な間隔は、0.5 (初期設定)、1 秒、2 秒、5 秒、10 秒、30 秒、および 1 分、2 分、5 分、30 分、1 時間です。

間隔	例
0.5 秒～2 秒	サーフィン、自転車、他のスポーツ
2 秒	往来の激しい街かど。
5 秒～10 秒	雲や屋外風景の長時間撮影。
10 秒～1 分	アートプロジェクトやその他の長時間を要する活動。
1 分～1 時間	非常に長い時間を要する建設工事またはその他の活動。

仕様：タイムラプス

タイムラプスビデオの録画時間

この表を使用して、録画するビデオの長さを決定してください。

間隔	録画時間	ビデオの長さ
0.5 秒	5 分	20 秒
1 秒	5 分	10 秒
2 秒	10 分	10 秒
5 秒	1 時間	20 秒
10 秒	1 時間	10 秒
30 秒	5 時間	20 秒
1 分	5 時間	10 秒
2 分	5 時間	5 秒
5 分	10 時間	4 秒
30 分	1 週間	10 秒
1 時間	1 週間	5 秒

GoPro テク: 最良の結果を得るために、カメラを三脚に取り付けたり、安定した面に置いて、ぶれたり揺れたりしないようにします。タイムワープビデオを使用して、動いている間にタイムラプスビデオを撮影します。

仕様：タイムラプス

ナイトラプスの間隔

ナイトラプスモードで GoPro がシャッターを切る頻度を選択します。ナイトラプスの間隔は、自動、4 秒、5 秒、10 秒、15 秒、20 秒、30 秒、および 1 分、2 分、5 分、30 分、60 分です。

「自動」（初期設定）を選択すると、シャッター設定の間隔と同期されます。シャッター速度が 10 秒に設定されていて、間隔が「自動」の場合、カメラは 10 秒ごとにシャッターを切ります。

間隔	例
自動	すべての露出に最適（シャッターの設定に従いながら最速でシャッターを切ります）。
4 秒～5 秒	夕刻の街の風景、街の照明、動きのある場面。
10 秒～15 秒	明るい月夜の雲の動きなど、ゆったりとシーンが移り変わる薄暗い環境での撮影。
20 秒～30 秒	最小限の環境光量や街灯の下で見上げる星空のように、極めて低光量または極めて動きの少ないシーンの撮影。

仕様：Protune

Protune は、色、ホワイトバランス、シャッター速度などの詳細設定を手動でコントロールすることにより、カメラが持つ潜在的な創造力をすべて引き出します。プロ仕様の色補正ツール、その他の編集用ソフトウェアと互換性があります。

いくつかのポイントをご紹介します。

- Protune はループおよび LiveBurst 以外の全モードで利用できます。設定メニュー内で下にスクロールすると、Protune のすべての設定が表示されます。
- 露出コントロールを使用する場合、一部の Protune の設定は使用できません。
- プリセット内の Protune 設定で行った変更は、そのプリセットにのみ適用されます。たとえば、タイムラプスのホワイトバランスを変更しても、連写のホワイトバランスに影響を与えることはありません。

GoPro テク：設定メニューの  をタップして、すべての Protune 設定を初期設定の状態に復元することができます。

ビットレート

ビットレートにより、ビデオを 1 秒間録画するのに使用されるデータ量が決まります。高または低を選択します。

ビットレート	説明
低 (初期設定)	ファイルサイズを最小化するには、低いビットレートを使用します。
高	最適な画質を得るため、最大 100Mbps (4K および 2.7K ビデオ) の高ビットレートを使用します。

仕様：Protune

カラー

カラーを使用することで、ビデオや写真のカラープロファイルを調整できます。オプションをスクロールしてそれぞれの設定のライブプレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。

カラー設定	説明
GoPro (初期設定)	GoPro のクラシックな彩度のプロファイルで写真やビデオを撮影します。
自然	実際の色に忠実なカラープロファイルで写真やビデオを撮影します。
フラット	「フラット」はニュートラルなカラープロファイルで、他の機材で撮影された映像と合わせやすく色補正できるので、ポストプロダクションの幅が広がります。トーンカーブが長いので、「フラット」では影とハイライトのディテールがより捉えられます。

ホワイトバランス

ホワイトバランスを使用するとビデオや写真の色温度を調整し、寒色と暖色のバランスを最適化できます。オプションをスクロールしてそれぞれの設定のライブプレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。

この設定のオプションは、自動 (初期設定)、2300K、2800K、3200K、4000K、4500K、5000K、5500K、6000K、6500K、ネイティブです。値を小さくすると、暖色が強くなります。

また、「自動」を選択してホワイトバランスを GoPro に設定させるか、「ネイティブ」設定を選択して最小限に色補正したファイルを作成し、ポストプロダクション時により正確な調整を行うこともできます。

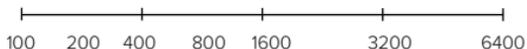
仕様：Protune

ISO 最小/最大

ISO 最小と ISO 最大を使用すると、光と画像ノイズに対するカメラの感度の範囲を設定できます。画像ノイズとは、ショットの粒度を意味します。

低光量時は、ISO 値が高いほどより明るい映像を得られますが、画像ノイズが高くなります。値が低いほど、画像が暗くなり、イメージノイズが低くなります。オプションをスクロールしてそれぞれの設定のライブプレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。

「ISO 最大」の初期設定値は、ビデオの場合は 1600 で、写真の場合は 3200 です。「ISO 最小」の初期設定値は 100 です。



画像が暗ければ暗いほど、
画像ノイズも小さくなる

画像が明るければ明るいほど、
画像ノイズも大きくなる

注意：ビデオおよび写真モードでは、ISO の動作は Protune のシャッター設定に応じて異なります。選択した「ISO 最大」は、ISO の最大値として使用されます。適用される ISO 値は、照明条件に応じて、より低くなる場合があります。

GoPro テク: 特定の値に ISO をロックするには、「ISO 最小」と「ISO 最大」を同じ値に設定します。

仕様：Protune

シャッター

Protune のシャッター設定は、ビデオモード、写真モード、LiveBurst モードにのみ適用されます。この設定によりシャッターが開いている時間が決まります。オプションをスクロールしてそれぞれの設定のライブプレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。初期設定は「自動」です。

写真の場合、オプションは自動、1/125 秒、1/250 秒、1/500 秒、1/1000 秒、1/2000 秒です。

ビデオの場合、オプションは次に説明されているように、fps の設定によって異なります。

シャッター	例 1:1080p30	例 2:1080p60
自動	自動	自動
1/fps	1/30 秒	1/60 秒
1/ (2xfps)	1/60 秒	1/120 秒
1/ (4xfps)	1/120 秒	1/240 秒
1/ (8xfps)	1/240 秒	1/480 秒
1/ (16xfps)	1/480 秒	1/960 秒

GoPro テク: ビデオや写真の手ブレを減らすために、シャッター設定の使用中は、カメラを三脚または安定した場所に固定して、ぶれたり揺れたりしないようにします。

仕様：Protune

露出値の補正 (EV 値)

露出値を補正すると、写真とビデオの明るさに影響します。この設定を調整することで、コントラストの強い照明状況下での撮影時に画像品質が改善されます。

この設定のオプションは、-2.0 ~ +2.0 です。初期設定は -0.5 です。

EV 値画面の右側のオプションをスクロールして、それぞれの設定のライブプレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。値が高いほど、画像が明るくなります。

注意：ビデオでは、この設定は、「シャッター」が「自動」に設定されている場合にのみ利用できます。

また、シーンの特定の領域に基づいて露出を調整することもできます。詳細については、「[露出コントロール](#) (79 ページ)」をご参照ください。

GoPro テク：EV 値は、既存の ISO 設定内で明るさを調整します。低光量下で明るさが ISO 設定に達している場合は、EV 値の値を上げても効果はありません。明るさを高めるには、より高い ISO 値を選択します。

仕様：Protune

シャープネス

シャープネスは、ビデオコンテンツや写真で撮影したディテールの質をコントロールします。この設定のオプションは、高、中 (初期設定)、低です。

オプションをスクロールしてそれぞれの設定のライブプレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。

GoPro テク：編集でシャープネスを上げることを想定している場合は、この設定で「低」を選択してください。

仕様：Protune

RAW オーディオ

標準の .mp4 オーディオトラックに加えて、ビデオ用の .wav ファイルを作成します。RAW オーディオトラックに適用する処理のレベルを選択できます。

RAW 設定	説明
オフ (初期設定)	個別の .wav ファイルは作成されません。
低	最小限の処理を適用します。ポストプロダクションでオーディオ処理を適用する場合に最適です。
中	ウィンドノイズ低減の設定に基づいて中程度の処理を適用します。独自のゲインを適用する場合に最適です。
高	フルオーディオ処理 (自動ゲインおよびウィンドノイズ低減) を適用します。AAC エンコードなしでオーディオを処理する場合に適しています。

SD カードをカードリーダーに挿入して、コンピューターの .wav ファイルにアクセスします。.mp4 ファイルと同じ名前で、同じ場所に保存されます。

仕様：Protune

ウィンドノイズ低減

HERO10 Black は、3 つのマイクを使って、ビデオの録画中に音声を録音します。撮影時の条件や、完成したビデオに使用したいサウンドの種類に基づいて、使用方法をカスタマイズすることができます。

設定	説明
自動 (初期設定)	風や水による過度なノイズを自動的に除去します。
オン	過度なウィンドノイズを除去したり、GoPro を移動中の乗り物に搭載している場合に使用します。
オフ	風の音が音質に影響を与えることなく、GoPro で確実にステレオ録音したい場合に使用します。

カスタマーサポート

GoPro はベストサービスに万全を期しております。
GoPro カスタマーサポートへのお問い合わせについては、
gopro.com/help をご参照ください。

登録商標

GoPro、HERO およびそれぞれのロゴは、米国およびその他諸国における GoPro, Inc. の商標または登録商標です。© 2021 GoPro, Inc. All rights reserved. 特許に関する情報については、gopro.com/patents をご覧ください。GoPro, Inc., 3025 Clearview Way, San Mateo CA 94402 | GoPro GmbH, Baierbrunner Str. 15 Bldg. D, 81379 Munich, Germany

規制情報

国別の認定書の詳細なリストをご覧いただくには、カメラに付属の「製品および安全に関する重要事項説明書」を参照するか、gopro.com/help をご利用ください。

